

ノートン™ セキュリティ

製品マニュアル



ノートン™ セキュリティ製品マニュアル

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その契約条項に同意する場合にのみ使用することができます。

ドキュメントバージョン 22.15

Copyright © 2018 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、チェックマークロゴ、ライブアップデート、ノートン、Norton by Symantec は Symantec Corporation またはその関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本書に記載されている製品は、その使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。本書のいかなる部分も、Symantec Corporation およびそのライセンサーからの事前に文書による許諾を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製してはならないものとします。

本書は「現状有姿のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性、不侵害の黙示的な保証を含む、すべての明示的または黙示的な条件、表明、保証は、この免責が法的に無効であるとみなされないかぎり、免責されるものとします。Symantec Corporation は、本書の提供、実施または使用に関連する付随的または間接的な損害に対して、一切責任を負わないものとします。本書の内容は、事前の通知なく、変更される可能性があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商業用コンピュータソフトウェアと見なされ、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」（該当する場合）、さらに後継の法規制により制限権利の対象となります（シマンテックによってオンプレミスサービスとして提供されるか、ホステッドサービスとして提供されるかは関係ありません）。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示、開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Symantec Corporation
350 Ellis Street,
Mountain View, CA 94043

<https://www.symantec.com/ja/jp>

Made in Singapore.

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

目次

第 1 章	ノートンによるこそ	6
	ノートン製品について	6
	ノートン セキュリティのシステムの必要条件	7
	ノートン アカウントの作成	8
	ノートン アカウントへのサインイン	8
	ノートン 早期採用プログラム	9
	ノートン 早期採用プログラムに参加する	10
	ノートン 早期採用プログラムをやめる	11
第 2 章	ノートンのダウンロードとインストール	12
	ノートンのダウンロードとインストール	12
	追加デバイスへのノートンのインストール	14
	ノートンのライセンスの新しいデバイスへの移行	16
	ノートン製品のアクティブ化	17
	ノートン ブータブルリカバリツールによるトラブルシューティング	17
第 3 章	脅威の理解と対応	20
	デバイスがリスクにさらされているときに実行すべき内容	20
	ライブアップデートの実行	21
	ノートン セキュリティによって検出された脅威を表示または解決する	21
	検疫済みのリスクまたは脅威を処理する	23
第 4 章	セキュリティの管理	25
	システム活動の詳細を表示する	25
	ファイルの信頼レベルを確認する	26
	レポートカードの表示	26
第 5 章	コンピュータのスキャン	28
	クイックスキャンを実行する	28
	システムの完全スキャンを実行する	29
	選択したドライブ、フォルダ、またはファイルをスキャンする	29
	カスタムスキャンを実行する	30
	スキャンをスケジュール設定する	31

ノートン パワーレイサーを使ってコンピュータをスキャンする	32
リアルタイム保護設定のカスタマイズ	33
[SONAR 保護]のオンとオフを切り替える	34
ノートン自動保護、SONAR、ダウンロードインテリジェンススキャンからファイルやフォルダを除外する	35
[シグネチャの除外]に項目を追加する	35
スキャン時に除外されるファイル ID を消去する	36
自動タスクのオンとオフを切り替える	36
カスタムタスクを実行する	37
セキュリティとパフォーマンスのスキャンのスケジュールを設定する	38

第 6 章 インターネット上のセキュリティの確保 39

ノートン ファイアウォールのオンとオフを切り替える	40
プログラムルールをカスタマイズする	40
ファイアウォールルールの順序を変更する	41
トラフィックルールを一時的にオフにする	42
遮断されたプログラムを許可する	42
ファイアウォール遮断通知をオフにする	43
侵入防止除外リストからすべてのデバイスを削除する	43
ブラウザ保護のオンとオフを切り替える	44
エクスプロイト、ハッカー、ゼロデイ攻撃などの脅威から保護するようにノートンを設定する	45
未知の脆弱性保護のオンとオフを切り替える	46
自動遮断のオンとオフを切り替える	47
自動遮断で遮断しているコンピュータの遮断を解除する	47
デバイスを[デバイスの信頼]に追加する	48
ダウンロードインテリジェンスのオンとオフを切り替える	49
スパムフィルタ処理のオンとオフを切り替える	50
ノートン製品のインターネット使用率を定義する	51
データ通信ポリシーのオンとオフを切り替える	51

第 7 章 重要なデータの保全 53

ノートンのブラウザ拡張機能を追加する	53
ノートン セーフウェブのオンとオフを切り替える	57
ノートン セーフサーチを使って Web を検索する	58
Web インサイト	59
フィッシング対策	59
ID セーフにアクセスする	60
ID セーフのオンとオフを切り替える	60
クラウド ID セーフデータベースの作成	61
クラウド ID セーフデータベースを削除する	62
ID セーフデータをエクスポートする	62

	ID セーフデータをインポートする	63
	ノートン ツールバーを有効または無効にする	64
	Norton Shopping Guarantee	65
	Norton Shopping Guarantee で購入を登録する	65
	Norton Shopping Guarantee で購入の苦情を申請する	66
第 8 章	コンピュータのチューンナップ	67
	手動でハードディスクを最適化する	67
	パフォーマンス警告を設定する	68
	ディスククラッター上に散乱するファイルをクリーンアップするスキャンを実 行する	69
	診断レポートを実行する	69
	起動項目を管理する	69
	ブートボリュームを最適化する	70
第 9 章	メディアとデータの保護	72
	ファイルのバックアップを作成する	72
	ファイルを復元する	72
	新しいバックアップセットを作成する	74
	バックアップセットにファイルとフォルダを追加する	74
	バックアップ先を選択する	75
	クラウドストレージ容量を追加購入する	78
	バックアップのオンとオフを切り替える	79
第 10 章	設定のカスタマイズ	81
	ネットワークプロキシを設定する	81
	ノートン製品の設定のカスタマイズ	82
	バッテリー使用を最適化するようにノートン製品を設定する	83
	リモート管理のオンとオフを切り替える	84
	パスワードを使ってノートン製品の設定を保全する	84
	ノートン製品の設定のパスワードをリセットする	85
	[ノートン製品の改ざん対策]のオンとオフを切り替える	86
	検索ツールの使用方法	86
	検索ショートカットキーを設定する	87
第 11 章	追加の解決策の検索	88
	製品のバージョン番号を確認する	88
	製品の新しいバージョンの確認	88
	ノートン自動修復を使って問題を解決する	89
	[今すぐ解決]が失敗する理由	90
	ノートン製品をアンインストールする	91

ノートンによろこそ

この章では以下の項目について説明しています。

- [ノートン製品について](#)
- [ノートン セキュリティのシステムの必要条件](#)
- [ノートン アカウントの作成](#)
- [ノートン アカウントへのサインイン](#)
- [ノートン 早期採用プログラム](#)

ノートン製品について

最新のノートン製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ノートンは優れたセキュリティと高速のパフォーマンスを使いやすい設計で組み合わせ、今日の高度な脅威からデバイスを保護します。ID を守り、データを保護し、コンピュータの動作をピークパフォーマンスに保ちます。

ノートンは、単一のコンピュータでも、家族が接続する複数のデバイスでも保護します。データや情報を保全するのが当社の唯一の関心事項です。このため、ノートンは「登録の瞬間から、ノートンの専門家がお使いのデバイスをウイルスのない状態に保ちます。そうならない場合は、返金させていただきます」という大胆な約束ができます。

単一のノートン製品のサブスクリプションで、Windows、Mac、Android、iOS オペレーティングシステムを通じて、お使いのすべてのコンピュータ、スマートフォン、タブレットを保護できます。ライブアップデートは、最新のウイルス定義と保護機能をデバイスに自動的にインストールして、最高の保護を常に利用できるように保証します。

ノートン製品の設定で問題が発生した場合は、追加のヘルプを利用できます。ノートン製品は使いやすいサポートオプションを提供します。

ノートン セキュリティのシステムの必要条件

使用しているコンピュータ、Mac®、スマートフォン、タブレットにノートン セキュリティをインストールするには、システムの最小要件を満たしていることを確認してください。

ノートン セキュリティプレミアムは、最大 10 台のデバイスを保護し、コンピュータ向けのセキュアバックアップのみを提供します。Mac OS X 向けのセキュアバックアップは含みません。

Windows

◆ オペレーティングシステム

- Microsoft Windows® 10 および Windows® 10 Pro (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows® 8.1 以降 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows® 8 および Windows® 8 Pro (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows® 7 (32 ビットおよび 64 ビット) Service Pack 1 以降
- Microsoft Windows® Vista (32 ビットおよび 64 ビット) Service Pack 1 以降
- Microsoft Windows® XP Service Pack 3

ハードウェア

- CPU
Windows XP: 300 MHz
Windows 10/8/7/Vista: 1 GHz
- RAM
Windows 10: 2 GB (回復ツールには最低 512 MB RAM 必要)
Windows 8/7: 1 GB (32 ビット) (回復ツールには最低 512 MB RAM 必要)
Windows Vista: 512 MB
Windows XP: 256 MB
- ハードディスク容量
300 MB 以上のハードディスク容量

脆弱性保護機能のサポート対象ブラウザ

脆弱性保護機能に対しては次のブラウザがサポートされています。

- Microsoft Internet Explorer® 8.0 以降 (32 ビットおよび 64 ビット)^{1, 2}
- Mozilla Firefox® (32 ビットおよび 64 ビット)²
- Google Chrome™ (32 ビットおよび 64 ビット)²

フィッシング対策、セーフサーチ、パスワード管理のサポート対象ブラウザ

次のブラウザはフィッシング対策、セーフサーチ、パスワード管理をサポートしています。

- Microsoft Internet Explorer® 8.0 以降 (32 ビットおよび 64 ビット)^{1, 2}

- Mozilla Firefox® (32 ビットおよび 64 ビット)²
- Google Chrome™ (32 ビットおよび 64 ビット)²

電子メールクライアント

ノートン セキュリティは、POP3 と互換性のあるすべての電子メールクライアントでの電子メールスキャンをサポートしています。

スパム対策のサポート

次の電子メールクライアントはスパム対策をサポートしています。

- Microsoft Outlook 2003 以降

¹ 一部の保護機能は、Microsoft Internet Explorer 10.0 以降では使えません。

² サービス期間内にシマンテック社によってサポートされた場合。

ノートン アカウントの作成

ノートン アカウントは、接続されたデバイスを監視してプロフィールを更新する場所です。また、ノートン アカウントから請求設定を変更したり製品を更新したりできます。

シマンテックストアから購入した場合または製品をすでにダウンロードしてインストールした場合、ノートン アカウントは作成されています。

ノートン ファミリー、ノートン オンラインバックアップ、ノートン セーフウェブにサインアップした場合もノートン アカウントを保有している可能性があります。このアカウントが関連付けられたノートン セキュリティライセンスも保有していることを確認してください。

ノートン アカウントを作成するには

- 1 <https://my.norton.com> に移動します。
- 2 [サインイン]をクリックしてから、[アカウントを作成する]タブをクリックします。
- 3 アカウントの有効な電子メールアドレスとパスワードを入力します。今後ノートンにサインインする場合は、これらの資格情報を使う必要があります。
- 4 地域を選択します。
- 5 プライバシーポリシーを読んで同意したら、[アカウントを作成する]をクリックします。

ノートン アカウントへのサインイン

ノートン アカウントにサインインすると、お使いのデバイスの監視、プロフィールの更新、請求設定の変更を行うことができます。

ノートン アカウントにサインインするには

- 1 <https://my.norton.com> に移動します。
- 2 [サインイン]をクリックします。
- 3 ノートン アカウントを作成したときに使用した電子メールアドレスとパスワードを入力して、[サインイン]をクリックします。
- 4 パスワードを知らない場合、[パスワードを忘れた場合]をクリックします。
指示に従って、新しいパスワードリンクを記載した電子メールを受信します。

メモ: ノートン アカウントへのアクセスに2段階認証を選択している場合は、パスワードに加え確認コードを使う必要があります。詳しくは、「[ノートン アカウントの2段階認証](#)」を参照してください。

ノートン 早期採用プログラム

ノートン 早期採用プログラムを利用すると、ノートンのプレリリースソフトウェアをダウンロードして、新しい機能を試す最初のユーザーになることができます。プレリリースソフトウェアにアップグレードするために、別のノートンアカウントを作成したり、ノートンをアンインストールしたりする必要はありません。ノートン 早期採用プログラムに参加すると、ノートン ライブアップデートがお使いのコンピュータに最新のプレリリースソフトウェアをダウンロードします。

ノートン 早期採用プログラムに参加するメリットは何ですか？

- 最新のノートン セキュリティの機能をプレビューすることができます。
- 製品の最終バージョンの開発に役立つフィードバックを行うことができます。

ノートン 早期採用プログラムに参加する資格があるのは誰ですか？

限られた数の課金ユーザーまたはアクティブユーザーに、製品内でノートン 早期採用プログラムの招待が送信されます。これが最初にプログラムに参加する唯一の方法です。

ノートン 早期採用プログラムに登録するにはどうすれば良いですか？

製品内でノートン 早期採用プログラムの招待を受け取った場合、登録できます。

ノートン 早期採用プログラムはいつでもやめることができます。

詳しくは、『[ノートン 早期採用プログラムに参加する](#)』を参照してください。

ノートン 早期採用プログラムをやめた場合、以前のバージョンにロールバックできますか？

ノートン 早期採用プログラムはいつでもやめられますし、ノートン製品の以前のバージョンにロールバックできます。

詳しくは、『[ノートン 早期採用プログラムをやめる](#)』を参照してください。

ノートン 早期採用プログラムを選択する前に、ノートンのローカルバックアップドライブをバックアップする必要がありますか？

データをバックアップする必要はありません。ノートン ライブアップデートがノートンの最新プレリリースソフトウェアをインストールします。ただし、ノートン 早期採用プログラムをやめると、ノートンのローカル設定は失われます。

ノートン 早期採用プログラムに関するフィードバックをお知らせください。

[フィードバックを提供する](#)

ノートン 早期採用プログラムに参加する

製品内でノートン 早期採用プログラムに参加する招待を受け取った場合、登録できます。

ノートン 早期採用プログラムはいつでもやめることができます。

招待からノートン 早期採用プログラムに参加する

- 1 ノートン 早期採用プログラムの招待で、[詳細]をクリックします。
- 2 [ノートン 早期採用プログラムについて]ページを読み、[参加する]をクリックします。
- 3 ノートン製品使用許諾契約を読んでから、[同意する]をクリックします。
- 4 ノートン アカウントのパスワードを入力して、[サインイン]をクリックします。
- 5 [登録完了]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。ノートンが次のライブアップデートセッションでコンピュータにプレリリースソフトウェアをダウンロードします。

ノートンの[管理の設定]ウィンドウからノートン 早期採用プログラムに参加する

製品内の招待を拒否したか無視した場合、ノートン製品を使用してノートン 早期採用プログラムに参加できます。

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [管理の設定]ウィンドウの[ノートン 早期採用プログラム]行で[参加する]をクリックします。
- 4 [ノートン 早期採用プログラムについて]ページを読み、[参加する]をクリックします。
- 5 ノートン製品使用許諾契約を読んでから、[同意する]をクリックします。
- 6 ノートン アカウントのパスワードを入力して、[サインイン]をクリックします。
- 7 [登録完了]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。ノートンが次のライブアップデートセッションでコンピュータにプレリリースソフトウェアをダウンロードします。

ノートン 早期採用プログラムをやめる

ノートン 早期採用プログラムは、ノートンの[管理の設定]ウィンドウからいつでもやめることができます。

ノートン 早期採用プログラムをやめる

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [管理の設定]ウィンドウの[ノートン 早期採用プログラム]行で[登録解除]をクリックします。
- 4 ノートン製品がノートン 削除/再インストールツールを開始して、以前のノートン製品のバージョンにロールバックします。
- 5 使用許諾契約を読んで[同意]をクリックします。
- 6 [削除と再インストール]をクリックします。
- 7 [今すぐ再起動]をクリックします。

コンピュータを再起動したら、画面上の指示に従ってノートン製品の以前のバージョンを再インストールします。

ノートンのダウンロードとインストール

この章では以下の項目について説明しています。

- ノートンのダウンロードとインストール
- 追加デバイスへのノートンのインストール
- ノートンのライセンスの新しいデバイスへの移行
- ノートン製品のアクティブ化
- ノートン ブータブルリカバリツールによるトラブルシューティング

ノートンのダウンロードとインストール

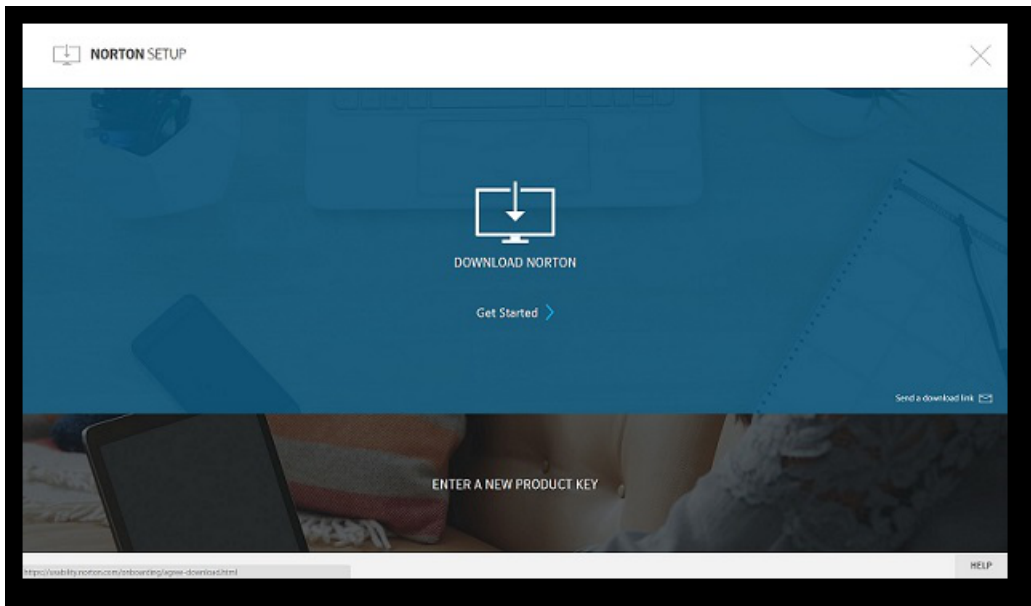
お使いのデバイスを保護してノートン製品を管理するのは、ノートンアカウントに新しいデバイスを追加するのと同じくらい簡単です。

お使いのコンピュータにノートンをダウンロードしてインストールするには

- 1 norton.com/setup に移動します。
- 2 ノートン アカウントにサインインしていない場合は、電子メールアドレスとノートン アカウントのパスワードを入力して、[サインインする]をクリックします。

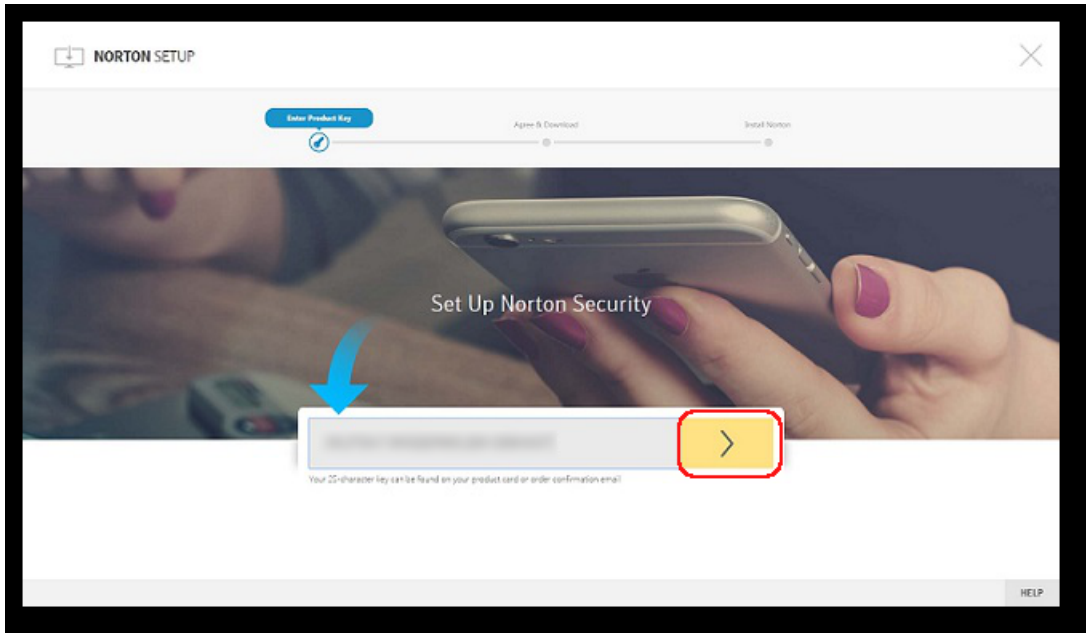
アカウントを持っていない場合は、[アカウントを作成する]をクリックして、サインアッププロセスを完了します。

- 3 [ノートンの設定]ウィンドウで[ノートンをダウンロード]をクリックします。



ノートン アカウントにまだ登録されていない新しい製品をインストールするには、[新しいプロダクトキーを入力]をクリックします。

プロダクトキーを入力して、「次へ」(>) アイコンをクリックします。



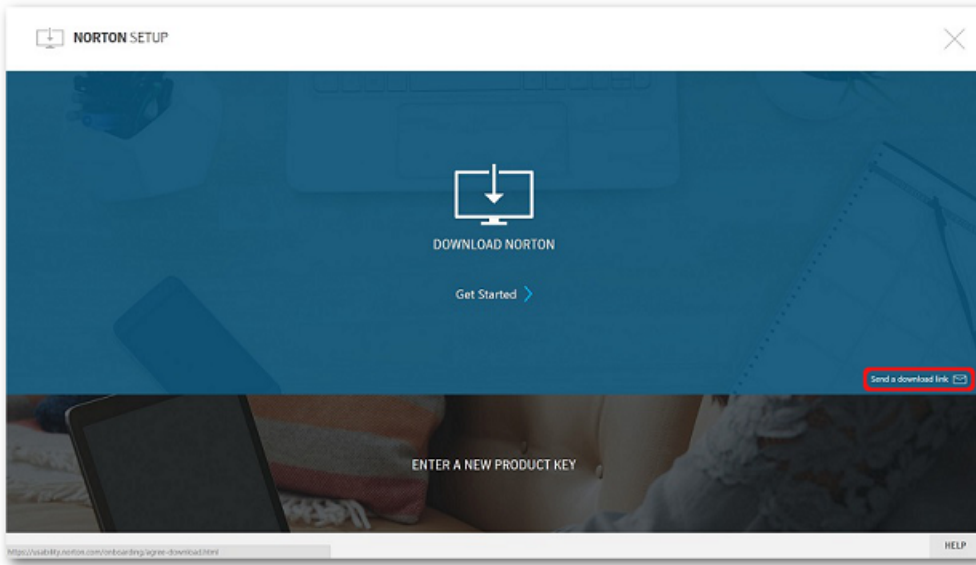
- 4 [同意してダウンロードする]をクリックします。
- 5 画面の青い矢印で示されている領域をクリックして、画面に表示される指示に従います。
 - Internet Explorer または Microsoft Edge ブラウザの場合は、[実行]をクリックします。
 - Firefox または Safari の場合は、ブラウザの右上隅にある[ダウンロード]オプションをクリックしてダウンロードされたファイルを表示し、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
 - Chrome の場合は、左下隅に表示されるダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
- 6 [ユーザーアカウント制御]ウィンドウが表示された場合は、[続行]をクリックします。
- 7 ノートン製品がダウンロード、インストールされ、アクティブ化されます。

追加デバイスへのノートンのインストール

ノートンアカウントから追加デバイスに電子メールを送信して、そのデバイスにノートンをインストールできます。電子メールにはノートンをインストールするためのインストールリンクと説明が記載されています。

別のデバイスにノートンをインストールするには

- 1 ノートンにサインインします。
- 2 ノートン アカウントにサインインしていない場合は、電子メールアドレスとノートン アカウントのパスワードを入力して、[サインインする]をクリックします。
- 3 [ノートンの設定]ウィンドウで、[ダウンロードリンクを送信する]をクリックします。



- 4 追加デバイスでアクセスできる電子メールアドレスを入力して、[送信する]ボタンをクリックし、[完了]ボタンをクリックします。
ノートン製品のインストール方法を記載した電子メールが電子メールアドレスに送信されます。
- 5 ノートンをダウンロードするデバイスで、ノートンチーム (The Norton Team) から受信した電子メールを探して開きます。
- 6 [今すぐダウンロード]をクリックします。

- 7 [同意してダウンロードする]をクリックします。
 - 8 コンピュータにファイルを保存し、そのファイルをダブルクリックしてノートンをインストールします。デフォルトでは、ファイルは **Mac** と **Windows** コンピュータの両方で **Downloads** フォルダに保存されます。
- 画面の指示に従って操作します。

メモ: ノートン アンチウイルス **Mac** 版は、ノートン アカウントを通して管理できません。

メモ: [完了]をクリックすると、ノートン セキュリティプレミアムのお客様はノートン ファミリーのページにリダイレクトされます。

ノートンのライセンスの新しいデバイスへの移行

ノートン製品がすでに使用していないデバイスにインストールされている場合、ノートン アカウントを使用してそのデバイスから別のデバイスへノートン製品を移行できます。

ノートン ライセンスの移行

- 1 ノートン アカウントに[サインイン](#)します。
- 2 [デバイス]ページで、保護しない製品を特定します。

メモ: デバイスは緑のステータスで表示されます。使用しないデバイスが赤またはオレンジのステータスで表示される場合は、ノートン アカウントからそのデバイスを削除して、ライセンスを別のデバイスで利用できます。

- 3 デバイスの下の省略記号 (...) アイコンをクリックします。
- 4 表示されるメニューで[ライセンスの管理]をクリックします。
- 5 [デバイスの管理]ページで、以下の手順を実行します。
 - デバイス名をクリックします。
 - [実行したい管理作業の選択]で、[ノートンの削除]をクリックします。
 - [次へ]をクリックします。
- 6 表示される[ノートンの削除]ウィンドウで、[はい]をクリックします。
- 7 表示されるページで[今すぐインストール]をクリックします。
- 8 [新しいデバイスにインストール]ページで次のいずれかを選択します。
 - 現在のデバイスにノートンをインストールするには、[ダウンロード]をクリックします。

- 別のデバイスにノートンをインストールするには、[リンクを送信]をクリックします。
- 9 [次へ]をクリックします。
 - 10 画面の指示に従ってインストールを完了します。

ノートン製品のアクティブ化

ノートンのセキュリティ機能を使用するには、最初に製品をアクティブ化する必要があります。製品のアクティブ化をしていただくことで、シマンテック社のソフトウェアの適正な所有者であることが確認されます。

インターネットに接続している場合、インストール後に製品を初めて起動するときに製品のアクティブ化が自動的に実行されます。インストール中に製品をアクティブ化しなかった場合には、製品を起動するたびにノートンはアクティブ化を要求します。また、製品をアクティブ化するまでアクティブ化を要求する警告が定期的に表示されます。

製品をアクティブ化するには

- 1 ノートン製品を起動します。
- 2 ノートン製品のメインウィンドウで、[延長]または[今すぐアクティブ化]をクリックします。
アクティブ化を要求する警告から[今すぐアクティブ化]をクリックすることもできます。
- 3 メッセージが表示されたら、ノートン アカウント資格情報を使ってノートン アカウントにサインインします。
- 4 次のいずれかの操作をします。
 - プロダクトキーがある場合は、[キーを入力する]をクリックし、プロダクトキーを入力して、画面の指示に従って操作します。
 - 利用可能なライセンスがある場合は、サブスクリプションを選択し、画面の指示に従って操作します。
 - ライセンスを購入する場合は、[サブスクリプションを購入する]をクリックします。ライセンスを購入できるノートン ストア Web サイトにリダイレクトされます。

ノートン ブータブルリカバリツールによるトラブルシューティング

ノートン セキュリティをインストールできない場合、ノートン セキュリティを開けない場合、コンピュータを起動できない場合は、ノートン ブータブルリカバリツールを使って問題を解決できます。

ノートン ブータブルリカバリツールはウイルス、スパイウェア、その他のセキュリティリスクをスキャンして削除します。ノートン ブータブルリカバリツールは、DVD または USB ドライブからのみ実行できます。

メモ: ノートン ブータブルリカバリツールは、ウイルスやセキュリティリスクからのリアルタイム保護機能の代わりとなるものではありません。

手順 1: 感染していないコンピュータでノートン ブータブルリカバリツールの ISO ファイルをダウンロードする

ISO ファイルをダウンロードするには

- 1 ブラウザを開き、次の URL に移動します:
<http://norton.com/nbrt>
- 2 [ダウンロード]をクリックします。
- 3 画面の指示に従ってノートン ブータブルリカバリツールの ISO ファイルをダウンロードして保存します。

手順 2: ノートン ブータブルリカバリツールのブータブルメディアを作成する

ノートン ブータブルリカバリツールの ISO ファイルは、ブート可能メディアとして任意のツールを使って DVD または USB ドライブに書き込むことができます。その後、任意の感染したコンピュータでノートンブータブルリカバリツールを実行できます。この DVD は、任意のコンピュータでリカバリ DVD として使うこともできます。

警告: ノートン ブータブルリカバリツールを再書き込み可能な DVD または USB ドライブに作成する場合、その DVD または USB ドライブ上のすべてのデータは完全に削除されます。再書き込み可能な DVD または USB ドライブにノートン ブータブルリカバリツールを作成する前に、データをバックアップしてください。

メモ: USB ドライブでノートン ブータブルリカバリツールを作成する場合、USB ドライブには 1 GB 以上の容量があり、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

手順 3: ノートン ブータブルリカバリツールを起動する

DVD または USB ドライブでノートン ブータブルリカバリツールを作成したら、そのメディアを使ってノートン ブータブルリカバリツールを実行します。

ノートン ブータブルリカバリツールを起動するには

- 1 作成したノートン ブータブルリカバリツールの DVD または USB ドライブを挿入します。
- 2 感染したコンピュータの電源を入れるか、または再起動してすぐに表示されるキーを押して BIOS モードに入ります。
- 3 ノートンブータブルリカバリツールを作成した DVD または USB ドライブを選択して、Enter キーを押します。UEFI 対応のコンピュータを使っている場合は、[UEFI ブート] オプションではなく、[レガシーブート] オプションの下にあるリカバリメディアを選択します。リカバリメディアはノートンブータブルリカバリツールの DVD または USB ドライブです。

- 4 [NBRT へようこそ] ページで、[ブート] オプションを選択します。ブートに失敗した場合は、[ブート (基本ビデオ)] オプションを選択します。
- 5 [言語の選択] ドロップダウンリストで言語を選択し、[OK] をクリックします。
- 6 ノートン製品使用許諾契約を参照し、[同意] をクリックしてツールを起動します。

手順 4: 脅威をスキャンして解決する

ノートン ブータブルリカバリツールは、既知のすべてのセキュリティ脅威を識別してリストに表示します。潜在的なリスクとして識別された項目の処理方法を選択できます。

脅威をスキャンして解決するには

- 1 ノートン製品使用許諾契約を参照し、[同意] をクリックしてツールを起動します。
- 2 [コンピュータのスキャン] セクションで [スキャンを開始] をクリックします。
スキャンが完了すると、[スキャンが完了しました] ウィンドウに次の項目がリストに表示されます。
 - スキャンしたファイルの合計
 - 検出された脅威の合計
- 3 [スキャンが完了しました] ウィンドウでスキャン結果を確認し、次のいずれかの操作を実行します。
 - コンピュータで見つかったすべての脅威を解決するには、[処理] 列を選択します。
 - それぞれの脅威に適切に対処するには、[処理] 列の関連する脅威の中から解決するものを選択します。

メモ: 削除されたファイルをコンピュータ上に復元することはできないため、脅威を解決する前にスキャン結果を慎重に確認してください。

- 4 [解決] をクリックします。
- 5 確認ダイアログボックスで [OK] をクリックします。
- 6 [修復] ウィンドウの [処理] 列に各脅威の状態が表示されます。
- 7 [続行] をクリックします。
- 8 [コンピュータの再ブート] ウィンドウで [再ブート] をクリックし、コンピュータを再起動します。
スキャンを再実行する場合は、[再びスキャン] をクリックします。

インターネットに接続している状態でスキャンを開始すると、ノートンブータブルリカバリツールはシマンテックサーバーから最新のウイルス定義を自動的にダウンロードして更新します。最新のウイルス定義を使うと、最新のウイルスとセキュリティの脅威からコンピュータを保護できます。

脅威の理解と対応

この章では以下の項目について説明しています。

- デバイスがリスクにさらされているときに実行すべき内容
- ライブアップデートの実行
- ノートン セキュリティによって検出された脅威を表示または解決する
- 検疫済みのリスクまたは脅威を処理する

デバイスがリスクにさらされているときに実行すべき内容

ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]、[個人情報]、[バックアップ]、[パフォーマンス]タイトルの色により、次のように、各カテゴリの状態がわかります。

- 緑: 保護されています。
- オレンジ: コンピュータは注意が必要です。
- 赤: コンピュータは危険な状態です。

メモ: バックアップカテゴリを利用できるのは、デラックス+とプレミアムのサブスクリプションがある場合のみです。

保護またはシステムパフォーマンスの低下を招くほとんどの問題は、ノートンで自動的に解決され、メインウィンドウに状態が[保護]として表示されます。注意する必要がある問題は[リスクあり]または[注意]として表示されます。

[注意]または[リスクを伴う]の状態インジケータに対応する

- 1 ノートンメインウィンドウで、[リスクを伴う]または[注意]を示しているカテゴリ内の赤いタイルまたはオレンジのタイルをクリックします。
- 2 [今すぐ解決]をクリックして画面上の指示に従います。

それでも問題が解決しない場合は、[ヘルプ] > [サポート情報]をクリックして、診断ツールを実行します。

コンピュータに重大な感染が発生している可能性がある場合は、[ノートンレスキューツール](#)を使うこともできます。

ライブアップデートの実行

シマンテック社は、次のような場合にライブアップデートを定期的に行うことをお勧めします。

- [自動ライブアップデート]をオフにしている場合
- コンピュータが長時間インターネットに接続されていない場合

メモ: ライブアップデートを実行するには、サブスクリプションとインターネット接続が必要です。

ライブアップデートを手動で実行するには

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[ライブアップデート]をクリックします。
- 2 [ノートン ライブアップデート]ウィンドウで、ライブアップデートが正常に完了したら、[OK]をクリックします。

ノートンセキュリティによって検出された脅威を表示または解決する

ノートンはリスクを検出すると脅威を削除して検疫します。場合によっては、検出したセキュリティリスクを手動で解決する必要があることを示すメッセージが表示されます。「脅威が検出されました」警告または「セキュリティリスク」警告が届いた場合、警告の指示に従って未解決の脅威を解決してください。

スキャン中に自動的に解決されたリスクを表示する

スキャン中に自動的に解決されたリスクを表示する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[履歴]をクリックします。
- 2 [セキュリティ履歴]ウィンドウの[表示]ドロップダウンリストで[解決したセキュリティリスク]を選択します。
- 3 リストでリスクを選択し、[詳細]ペインで、実行した処理を表示します。

スキャン中に検出された未解決のリスクを解決する

場合によっては、ノートンで自動的にリスクを解決できないことがあります。リスクを解決するために実行する必要がある処理が推奨されます。

スキャン中に検出された未解決のリスクを解決する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[履歴]をクリックします。
- 2 [セキュリティ履歴]ウィンドウの[表示]ドロップダウンリストで[未解決のセキュリティリスク]を選択します。
- 3 未解決のリスクが表示される場合は、リストでリスクを選択します。
- 4 [詳細]ペインの[推奨する処理]に従います。

未解決のリスクを解決できない場合にノートン パワーイレイサーを実行する

システムが感染していると思う場合はノートン パワーイレイサーを実行します。ノートン パワーイレイサーは、削除が困難なセキュリティリスクを除去する強力なマルウェア駆除ツールです。

ノートン パワーイレイサーを実行する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]、[スキャン]の順にクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウで[ノートン パワーイレイサー]をクリックします。
- 3 [実行]をクリックします。

メモ: ノートン パワーイレイサーは、強力なマルウェア駆除ツールです。ノートン パワーイレイサーによってマルウェアとともに正当なファイルも削除されることがあるため、ファイルを削除する前にスキャン結果を十分に確認する必要があります。

誤ってセキュリティリスクであると識別されたファイルを復元する

デフォルトでは、ノートンはコンピュータからセキュリティリスクを削除して検疫します。ファイルが誤って削除されたと思う場合は、ファイルを検疫から元の場所に戻して今後のスキャンから除外できます。

検疫からファイルを復元する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]、[履歴]の順にクリックします。
- 2 [セキュリティ履歴]ウィンドウの[表示]ドロップダウンメニューで[検疫]を選択します。
- 3 復元したいファイルを選択します。
- 4 [詳細]ペインで[オプション]をクリックします。
- 5 [脅威が検出されました]ウィンドウで[このファイルを復元して除外]をクリックします。
- 6 [検疫の復元]ウィンドウで[はい]をクリックします。
- 7 [フォルダの参照]ダイアログボックスで、ファイルの復元先のフォルダまたはドライブを選択し、[OK]をクリックします。

メモ: プログラムは安全であると確信する場合にのみノートンのスキャンからプログラムを除外します。たとえば、別のプログラムが機能するのにセキュリティリスクプログラムを使う場合には、コンピュータにそのプログラムを残すことにする場合があります。

検疫済みのリスクまたは脅威を処理する

検疫項目はコンピュータの他の部分から隔離されているため伝染またはコンピュータに再感染する可能性はありません。ノートン製品ではリスクと識別されないものの、感染していると考えられる項目がある場合は、項目を検疫に手動で入れることができます。

検疫項目を誤って開いてウイルスが伝染する可能性はありませんが、シマンテック社への提出のためにその検疫項目を評価できます。

検疫項目の種類

[セキュリティリスク]	別のプログラムが正しく動作するために必要とされるスパイウェアやアドウェアなど、一般に危険度が低い項目。 これらの項目は必要に応じて復元できます。
[セキュリティの脅威]	ウイルスおよびその他の危険度が高い項目。

検疫項目に処理を実行する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[履歴]をクリックします。
- 2 [詳細]ペインで[オプション]をクリックします。

[その他のオプション]リンクを使って、項目に対する処理を選択する前にその項目についての詳細を表示できます。このリンクで、リスクに関する詳しい情報を含む[ファイルインサイト]ウィンドウが開きます。

- 3 [脅威が検出されました]ウィンドウで実行したい処理を選択します。次のようなオプションがあります。

[復元]	検疫したセキュリティリスクをコンピュータの元の場所に戻します。 このオプションは手動で検疫した項目に対してのみ利用できます。
[このファイルを復元して除外]	選択した検疫項目を修復せずに元の場所に戻し、今後のスキャンでこの項目が検出されないように除外します。 このオプションは検出されたウイルス性脅威と非ウイルス性脅威に対して利用できます。
[履歴から削除]	選択した項目をセキュリティ履歴ログから削除します。
[シマンテック社に提出]	セキュリティリスクの評価のために選択した項目をシマンテック社に送信します。 場合によっては、ノートンがセキュリティの脅威として識別しない項目に感染の疑いがあることがあります。このような場合、このオプションを使って、さらに分析するためにその項目をシマンテック社に提出できます。

リスクによっては[ファイルインサイト]ウィンドウの[オプション]リンクを使ってこのウィンドウに移動することもできます。

- 4 画面の指示に従って操作します。

セキュリティの管理

この章では以下の項目について説明しています。

- システム活動の詳細を表示する
- ファイルの信頼レベルを確認する
- レポートカードの表示

システム活動の詳細を表示する

システムインサイトでは、過去 3 カ月に起きたシステム活動や実行したシステム活動の詳細を[グラフ]ウィンドウに表示できます。活動には、アプリケーションのインストール、アプリケーションのダウンロード、ディスクの最適化、脅威検出、パフォーマンス警告、クイックスキャンなどがあります。

イベントグラフの上部にあるページを使って、当月の詳細と過去 2 カ月間の詳細を取得できます。[グラフ]ウィンドウには、各活動がアイコンまたはストライプとして表示されます。各アイコンまたはストライプの説明はグラフの下部に表示されます。アイコンをマウスで指したときに表示されるポップアップは活動の詳細を表示します。詳細には、活動が実行された日付と、その日に実行された活動の合計数が含まれます。[詳細を表示]リンクでは、活動に関する追加の詳細が[セキュリティ履歴]ウィンドウに表示されます。

システム活動の詳細を表示する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[パフォーマンス]をダブルクリックしてから[グラフ]をクリックします。
- 2 [グラフ]ウィンドウで、詳細を確認する月のタブをクリックします。
- 3 イベントグラフで、活動を示すアイコンまたはストライプをマウスで指します。
- 4 表示されたポップアップで、活動の詳細を確認します。
- 5 ポップアップに[詳細を表示]オプションが表示された場合は、[詳細を表示]をクリックすると、[セキュリティ履歴]ウィンドウに追加の詳細が表示されます。

ファイルの信頼レベルを確認する

ノートン インサイトは、コンピュータの[対象のファイル]の評価を表示します。ファイルのシグネチャ、ファイルがインストールされた日付などを確認できます。ファイルの信頼レベル、コミュニティの使用状況、リソース使用率、ソースなども確認できます。

メモ: ノートンは、対象のファイルを右クリックしたときにのみ[ファイルインサイト]オプションを表示します。Windows のセーフモードでは、すべてのファイルについてこのオプションにアクセスできません。ノートンは、[ファイルインサイト]ウィンドウを開いて対象のファイルとして詳細を表示するファイルの分類も行います。

[ファイルインサイト]ウィンドウでは、ファイルの信頼値を更新したり、任意のファイルを手動で信頼したりできます。

ファイルの信頼レベルまたは場所を確認する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウで、[ノートン インサイト]を選択し、[実行]をクリックします。
- 3 [ノートン インサイト]ウィンドウで、ファイルの詳細を表示するか、または次の処理を実行します。
 - ファイルの場所を検索するには、[検索]をクリックします。
 - [詳細]タブで、[今すぐ信頼]をクリックしてファイルを手動で信頼します。
[不良]、[未確認]、または[ノートン信頼済み]ではないファイルを手動で信頼できます。
- 4 終了したら、[閉じる]をクリックします。

特定のファイルの信頼レベルを確認する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウで、[ノートン インサイト]を選択し、[実行]をクリックします。
- 3 [ノートン インサイト]ウィンドウで[特定ファイルを調べる]をクリックします。
- 4 詳細情報を確認するファイルの場所を検索します。
- 5 そのファイルを選択してから[開く]をクリックします。
- 6 [ファイルインサイト]ウィンドウでファイルの詳細情報を表示します。
- 7 [閉じる]をクリックします。

レポートカードの表示

[レポートカード]には、ノートンが実行したすべての活動が毎月自動的に表示されます。ノートンのメインウィンドウで、[レポートカード]をクリックしてレポートを手動で開くこともできます。

ノートンがファイルをスキャンする、ライブアップデートを実行する、ダウンロードを分析する、侵入を遮断する、感染したファイルを修復するたびに、活動に関する情報がレポートカードに記録されます。[レポートカード]ウィンドウで[詳細]オプションを選択すると、ノートンが実行した活動の詳細なリストが表示されます。

レポートカードを毎月自動的に表示しない場合は、このオプションをオフにできます。その場合にも手動でレポートを開くことができます。

レポートカードをオフにする

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [レポートカード]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]に移動します。

レポートカードを手動で表示する方法

ノートンのメインウィンドウで[レポートカード]オプションを使用してレポートを手動で表示することもできます。[レポートカード]オプションは、ノートンがコンピュータで何らかの活動を行った場合にのみ利用できます。

コンピュータのスキャン

この章では以下の項目について説明しています。

- クイックスキャンを実行する
- システムの完全スキャンを実行する
- 選択したドライブ、フォルダ、またはファイルをスキャンする
- カスタムスキャンを実行する
- スキャンをスケジュール設定する
- ノートン パワーイレイサーを使ってコンピュータをスキャンする
- リアルタイム保護設定のカスタマイズ
- [SONAR 保護]のオンとオフを切り替える
- ノートン自動保護、SONAR、ダウンロードインテリジェンススキャンからファイルやフォルダを除外する
- [シグネチャの除外]に項目を追加する
- スキャン時に除外されるファイル ID を消去する
- 自動タスクのオンとオフを切り替える
- カスタムタスクを実行する
- セキュリティとパフォーマンスのスキャンのスケジュールを設定する

クイックスキャンを実行する

クイックスキャンは、ウイルスとその他のセキュリティリスクの標的になりやすく、ウイルスに感染した可能性のあるコンピュータの領域をスキャンするのに役立ちます。このスキャンはコンピュータ全体はスキャンしないため、かかる時間はシステムの完全スキャンに比べ短くなります。

アイドルタイム中、ノートンのサービスは、定義の更新があるとクイックスキャンを実行します。

クイックスキャンを実行する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウの[スキャンとタスク]で[クイックスキャン]をクリックします。
- 3 [実行]をクリックします。
- 4 [結果の概略]ウィンドウで次のいずれかの操作をします。
 - 確認が必要な項目がない場合には[完了]をクリックします。
 - 確認が必要な項目がある場合には[脅威を検出しました]ウィンドウでリスクを確認します。

システムの完全スキャンを実行する

システムの完全スキャンは、ユーザーがアクセスできるすべてのブートレコード、ファイル、実行中プロセスを検査します。コンピュータ全体がスキャンされるため、時間がかかります。

システムの完全スキャンを実行する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウの[スキャンとタスク]で[システムの完全スキャン]をクリックします。
- 3 [実行]をクリックします。

選択したドライブ、フォルダ、またはファイルをスキャンする

場合によっては特定のファイル、リムーバブルドライブ、コンピュータの任意のドライブ、コンピュータ上の任意のフォルダまたはファイルを個々にスキャンすると便利です。たとえば、リムーバブルメディアを使っていてウイルス感染の疑いがあるとき、その特定のディスクをスキャンできます。また、電子メールで圧縮ファイルを受信したときにウイルス感染の疑いがある場合には、その特定の要素をスキャンできます。

個々の要素をスキャンする

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウの[スキャンとタスク]で、[カスタムスキャン]をクリックします。
- 3 [実行]をクリックします。
- 4 [スキャン]ウィンドウで次のいずれかの操作をします。
 - 特定のドライブをスキャンするには[ドライブスキャン]の横にある[実行]をクリックしてスキャンするドライブを選択し、[スキャン]をクリックします。

- 特定のフォルダをスキャンするには[フォルダスキャン]の横にある[実行]をクリックしてスキャンするフォルダを選択し、[スキャン]をクリックします。
- 特定のファイルをスキャンするには[ファイルスキャン]の横にある[実行]をクリックしてスキャンするファイルを選択し、[追加]をクリックします。
また、**Ctrl** キーを押しながらスキャン対象として複数のファイルを選択することもできます。
次のオプションを使ってスキャンを中断できます。

[一時停止]	カスタムスキャンを一時的に中断します。 スキャンを再開するには[再開]をクリックします。
[中止]	スキャンを終了します。

- 5 [結果の概略]ウィンドウで次のいずれかの操作をします。
- 確認が必要な項目がない場合には[完了]をクリックします。
 - 確認が必要な項目がある場合には[脅威を検出しました]ウィンドウで項目を確認します。

カスタムスキャンを実行する

カスタムスキャンを実行する場合、スキャンしたい項目を再定義する必要はありません。

[スキャン]ウィンドウでカスタムスキャンを実行できます。

カスタムスキャンを実行する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウの[スキャンとタスク]で、[カスタムスキャン]をクリックします。
- 3 [実行]をクリックします。
- 4 [スキャン]ウィンドウで、実行したいカスタムスキャンの横にある[実行]をクリックします。
次のオプションを使ってカスタムスキャンを中断できます。

[一時停止]	カスタムスキャンを一時的に中断します。 スキャンを再開するには[再開]をクリックします。
[中止]	カスタムスキャンを終了します。 [はい]をクリックして確定します。

- 5 [結果の概略]ウィンドウで次のいずれかの操作をします。
- 確認が必要な項目がない場合には[完了]をクリックします。
 - 確認が必要な項目がある場合には[脅威が検出されました]ウィンドウでリスクを確認します。

スキャンをスケジュール設定する

ノートンは、コンピュータのアイドル状態を自動的に検出してクイックスキャンを実行します。ただし、システムの完全スキャンは好みに応じてスケジュール設定できます。クイックスキャンと、ユーザーが作成したカスタムスキャンのスケジュールを設定することもできます。

カスタムスキャンのスケジュール設定は自由にできます。スキャンを実行したい頻度 (日単位、週単位、月単位) を選択すると、追加オプションが表示されます。たとえば、月単位のスキャンを要求してから、複数の日に実行されるようにスキャンをスケジュール設定できます。

ノートンでは、作成するカスタムスキャンだけでなく、システムの完全スキャンとクイックスキャンもスケジュール設定できます。

特定の時間間隔 (時間または日数) に実行するようにスキャンをスケジュール設定することもできます。

メモ: ノートンでは、スキャンを月単位でスケジュール設定する場合に複数の日付を選択できます。

カスタムスキャンをスケジュール設定する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウの[スキャンとタスク]で、[カスタムスキャン]をクリックします。
- 3 [実行]をクリックします。
- 4 [スキャン]ウィンドウの[スキャンの編集]列で、スケジュール設定したいカスタムスキャンの横にある編集アイコンをクリックします。
- 5 [スキャンの編集]ウィンドウの[スキャンスケジュール]ページで次のいずれかの操作をします。
 - 特定の時刻にはスキャンを実行しないが、スキャンオプションとスキャン項目を保存しておく場合は、[このスキャンのスケジュールを設定しない]を選択します。
 - 特定の時間間隔でスキャンを実行するには[特定の時間間隔で実行する]を選択します。
 - 毎日特定の時刻にスキャンを実行するには[日単位]を選択します。
 - 週の特定の曜日にスキャンを実行するには[週単位]を選択します。
 - 月の特定の日にスキャンを実行するには[月単位]を選択します。これらの頻度オプションにはスケジュールを細かく設定できる追加のオプションが含まれます。必要に応じて追加オプションを設定します。
- 6 [スキャンの実行]で次の操作ができます。
 - アイドル時のみスキャンを実行するには[アイドル時のみ]にチェックマークを付けます。
 - コンピュータが外部電源で接続されているときのみスキャンを実行するには[AC 電源の場合のみ]にチェックマークを付けます。

- コンピュータがスリープモードまたはスタンバイモードにならないようにするには[スタンバイ禁止]にチェックマークを付けます。
- 7 [スキャン完了後]で、スキャン完了後のコンピュータの状態を選択します。次のオプションがあります。
- [オンのままにする]
 - [オフにする]
 - [スリープ]
このオプションは、**Windows** のコントロールパネルを使ってコンピュータの電源オプションを設定した場合のみ機能します。
 - [休止]
このオプションは、**Windows** のコントロールパネルを使ってコンピュータの電源オプションを設定した場合のみ機能します。
- 8 [次へ]をクリックします。
- 9 [スキャンオプション]ページで[保存]をクリックします。

ノートン パワーイレイサーを使ってコンピュータをスキャンする

ノートン パワーイレイサーは、削除が困難なセキュリティリスクの撲滅に役立つ強力なマルウェア駆除ツールです。プログラムによってコンピュータが乗っ取られ、そのプログラムを検出または削除することが困難な場合は、ノートン パワーイレイサーによってセキュリティリスクをコンピュータから削除できる可能性があります。サイバー犯罪者が人をだまして知らずに脅威をコンピュータにダウンロードさせるために使うスケアウェアや偽セキュリティソフトなどと呼ばれるクライムウェアを検出することは困難です。

ノートン パワーイレイサーには、スケアウェア、偽セキュリティソフト、スカムウェアなどと呼ばれる、正当なアプリケーションを偽装するセキュリティリスク (偽のウイルス対策ソフトウェア) を検出して削除する機能が含まれます。このツールではお使いのノートン製品よりさらに強力な技術が使われるため、正当なプログラムに削除対象のフラグが付くリスクがあります。ファイルを削除する前にスキャン結果を慎重に確認する必要があります。

脅威をスキャンし解決する際、ノートン パワーイレイサーはシステム復元ポイントを作成します。重要なファイルが削除された場合、ノートン パワーイレイサーは[以前の解決を元に戻す]オプションを使ってファイルを復元します。ノートン パワーイレイサーによって、重要なファイルを確認、復元できる最近の修復セッションがリストされます。

ノートン パワーイレイサーを利用してスキャンする

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウの[ノートン パワーイレイサー]で、[ノートン パワーイレイサー]をクリックします。
- 3 [実行]をクリックします。
- 4 [ノートン パワーイレイサー]ウィンドウで[OK]をクリックします。
- 5 ノートン パワーイレイサーのメインウィンドウで[高度な保護]をクリックします。
- 6 [システムスキャン]をクリックします。
- 7 スキャン結果を確認して、画面上の指示に従って検出されたセキュリティリスクを解決します。

リアルタイム保護設定のカスタマイズ

ノートンのリアルタイム保護は、コンピュータの未知のセキュリティリスクを検出します。リスクが検出された場合、実行するべき対策を決定できます。

メモ: ほとんどのユーザーにはデフォルト設定をお勧めします。機能を一時的にオフにしたい場合でもできるだけ早くオンにしてください。危険度が低いアイテムを自動的に削除したい場合は **SONAR 拡張モード**を設定します。自動保護はコンピュータ上のプログラムが実行されるたびに、ウイルスとその他のセキュリティリスクの有無を調べます。自動保護は常にオンにしておいてください。

自動保護でリムーバブルメディアスキャンを設定する

リムーバブルメディアスキャンが完了するまで数秒かかります。リムーバブルメディアの挿入と取り出しを時間をかけずに行うと、デバイスが使用中であるという警告が表示されることがあります。該当のコンピュータから初めてリムーバブルメディアにアクセスする場合は、数秒待つってからリムーバブルメディアを取り出してください。

自動保護の設定をカスタマイズする

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ウイルス対策]をクリックします。
- 3 [リムーバブルメディアスキャン]でスライダーを[オン]に設定します。

SONAR で脅威の自動削除を設定する

SONAR (Symantec Online Network for Advanced Response の略) は、脅威からコンピュータをリアルタイム保護し、未知のセキュリティリスクをコンピュータ上でプロアクティブに検出します。SONAR はアプリケーションの動作に基づいて新種の脅威を識別します。SONAR 拡張モードの設定で SONAR が脅威を削除する方法を設定できます。

SONAR で脅威の自動削除を設定する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ウイルス対策]をクリックします。
- 3 [リスクを自動的に削除]で、スライダーを[常時]に設定します。
- 4 [操作がないときにリスクを削除]で、スライダーを[常時]に設定します。
- 5 [適用]をクリックします。

自動保護でノートンのスキャンからの既知の良好なファイルの除外を設定する

ノートンが有効なアプリケーションをセキュリティリスクとして識別してしまう場合にノートンのスキャンからファイルを除外できます。

ノートンのスキャンからファイルを除外する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ウイルス対策]をクリックします。
- 3 [ウイルス対策]設定ウィンドウで、[スキャンとリスク]タブをクリックします。
- 4 [除外 / 低危険度]で次のいずれかの操作をします。
 - [スキャンから除外する項目]行で[設定]をクリックします。
 - [自動保護、SONAR、ダウンロードインテリジェンスの検出から除外する項目]行で[設定]をクリックします。
- 5 表示されるウィンドウで[フォルダの追加]または[ファイルの追加]をクリックします。
- 6 [項目の追加]ダイアログボックスで参照アイコンをクリックします。表示されるダイアログボックスで、スキャンから除外する項目を選択します。
- 7 [OK]をクリックします。

[SONAR 保護]のオンとオフを切り替える

SONAR は、潜在的に悪質なアプリケーションを動作中に検出するリアルタイム保護です。脅威に対応して従来型のウイルスとスパイウェア検出定義が作成される前に脅威を検出するため、「ゼロデイ」保護として機能します。

SONAR をオフにすると、指定した時間後に SONAR をオンに戻すことを確認する保護警告が表示されます。

メモ: 自動保護をオフにすると SONAR 保護も無効になり、コンピュータは新しい脅威から保護されなくなります。

[SONAR 保護]のオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ウイルス対策]をクリックします。
- 3 [自動保護]タブの[リアルタイム保護]で、[SONAR 保護]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 4 [適用]をクリックします。
- 5 要求された場合は、SONAR 機能をオフにするまでの期間を選択し、[OK]をクリックします。
- 6 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

ノートン自動保護、SONAR、ダウンロードインテリジェンススキャンからファイルやフォルダを除外する

[スキャンの除外]ウィンドウと[リアルタイム除外]ウィンドウを使って、ウイルスとその他の危険度が高いセキュリティの脅威をスキャンから除外できます。

危険度が高いセキュリティの脅威をスキャンから除外する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ウイルス対策]をクリックします。
- 3 [ウイルス対策]設定ウィンドウで、[スキャンとリスク]タブをクリックします。
- 4 [除外 / 低危険度]で次のいずれかの操作をします。
 - [スキャンから除外する項目]行で[設定]をクリックします。
 - [自動保護、SONAR、ダウンロードインテリジェンスの検出から除外する項目]行で[設定]をクリックします。
- 5 表示されるウィンドウで[フォルダの追加]または[ファイルの追加]をクリックします。
- 6 [項目の追加]ダイアログボックスで参照アイコンをクリックします。
- 7 表示されるダイアログボックスで、スキャンから除外したい項目を選択します。
- 8 [OK]をクリックします。
- 9 [項目の追加]ダイアログボックスで[OK]をクリックします。
- 10 表示されるウィンドウで、[適用]をクリックしてから[OK]をクリックします。

[シグネチャの除外]に項目を追加する

セキュリティリスクをスキャンから除外するには、[シグネチャの除外]ウィンドウに特定のセキュリティリスクを追加する必要があります。既知のリスクを名前を選択してリストに追加できます。

メモ: ノートン製品のスキャンから既知のセキュリティリスクを除外すると、コンピュータの保護レベルが低下します。項目は、感染していない確信がある場合にのみ除外してください。

[シグネチャの除外]にシグネチャを追加する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ウイルス対策]をクリックします。
- 3 [ウイルス対策]設定ウィンドウで、[スキャンとリスク]タブをクリックします。
- 4 [除外 / 低危険度]の[すべての検出から除外するシグネチャ]行で、[設定]をクリックします。
- 5 [シグネチャの除外]ウィンドウで、[追加]をクリックします。
- 6 [セキュリティリスク]ウィンドウで、除外したいセキュリティリスクをクリックしてから[追加]をクリックします。
- 7 [シグネチャの除外]ウィンドウで、[適用]をクリックしてから、[OK]をクリックします。

スキャン時に除外されるファイル ID を消去する

スキャンを実行するとき、ノートン製品は、スキャンの除外に追加されたファイルを除外します。ノートンでコンピュータ内のすべてのファイルをスキャンする場合、そのファイルの ID を消去する必要があります。

スキャン時に除外されたファイルの ID を消去する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ウイルス対策]をクリックします。
- 3 [ウイルス対策]設定ウィンドウで、[スキャンとリスク]タブをクリックします。
- 4 [除外 / 低危険度]の[スキャン時に除外されるファイル ID を消去]行で、[すべてクリア]をクリックします。
- 5 [警告]ウィンドウで、[はい]をクリックします。

自動タスクのオンとオフを切り替える

ノートンは自動タスクの実行時に、バックグラウンドで動作させてコンピュータを保護します。この自動タスクにはウイルスのスキャン、インターネット接続の監視、保護情報の更新版のダウンロード、その他の重要なタスクがあります。このような活動はコンピュータに電源が入っているときにバックグラウンドで実行されます。

注意を要する項目がある場合、ノートンは現在の状態に関する情報が記載されたメッセージを表示し、対策を取るように促します。メッセージが表示されない場合、コンピュータは保護されています。

ノートンをいつでも開いてコンピュータの状態を一目で確認したり保護の詳細を表示したりすることができます。

バックグラウンド活動の実行中、ノートンは、タスクバーの右端にある通知領域にメッセージを表示します。最新の活動の結果は、次回ノートンのメインウィンドウを開いたときに確認できます。

自動タスクのオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[タスクスケジュール]をクリックします。
- 3 [タスクスケジュール]ウィンドウの[自動タスク]ページで次のいずれかの操作をします。
 - 自動的に実行したい機能にチェックマークを付けます。
[タスク]チェックボックスにチェックマークを付けて、すべての機能に一度にチェックマークを付けます。
 - 自動的に実行したくない機能のチェックマークをはずします。
[タスク]チェックボックスのチェックマークをはずして、すべての機能のチェックマークを一度にはずします。
- 4 [適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

カスタムタスクを実行する

ノートンはシステムを自動的に検査してシステムの安全性確保に最良の設定を選択します。ただし、いくつかの特定のタスクを実行することができます。[カスタムタスク]ウィンドウで利用可能なオプションを使って実行したい特定のタスクを選択できます。

ノートンでは 1 回限りのスキャンに固有の組み合わせでタスクを選択できます。ライブアップデートの実行、データのバックアップの作成、ブラウザ履歴の消去、ディスククラッター上に散乱するファイルのクリーンアップによるディスク容量の解放、ディスクの最適化を行うことができます。

カスタムタスクを実行する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウの[スキャンとタスク]で、[カスタムタスク]をクリックし、次に[実行]をクリックします。
- 3 [カスタムタスク]ウィンドウで、実行したいタスクにチェックマークを付けます。
すべてのタスクを選択するには、[タスク]にチェックマークを付けます。
- 4 [実行]をクリックします。

セキュリティとパフォーマンスのスキャンのスケジュールを設定する

タスクスケジュールの設定を使うと、セキュリティとパフォーマンスの問題がないかノートンでシステムを自動的に検査できます。このような検査をノートン製品が実行するタイミングと頻度を指定できます。セキュリティとパフォーマンスのスキャンのスケジュールには次のオプションがあります。

[自動 (推奨)]	アイドル状態のときにいつでもコンピュータを検査してセキュリティとパフォーマンスの問題がないか調べます。 この設定で最大限の保護が得られます。
[週単位]	コンピュータを週に 1 回以上検査してセキュリティとパフォーマンスの問題がないか調べます。 スキャンを実行する曜日と時刻を選択できます。
[月単位]	コンピュータを月に 1 回検査してセキュリティとパフォーマンスの問題がないか調べます。 スキャンを実行する日と時刻を選択できます。
[手動スケジュール]	コンピュータでセキュリティとパフォーマンスの定時スキャンを実行しません。 このオプションを選択した場合、保護状態を維持するためにコンピュータでセキュリティとパフォーマンスの手動スキャンを定期的に行ってください。

コンピュータがアイドル状態の間に重要な操作が実行されるようにスケジュール設定すると、コンピュータのパフォーマンスは最大になります。スキャンを週単位または月単位でスケジュール設定して[アイドル時にのみ実行]オプションにチェックマークを付けている場合、ノートンはコンピュータがアイドルのときにコンピュータをスキャンします。[アイドル時にのみ実行]にチェックマークを付けてコンピュータのパフォーマンスを上げることをお勧めします。

セキュリティとパフォーマンスのスキャンのスケジュールを設定する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[タスクスケジュール]をクリックします。
- 3 [スケジュール]ページの[スケジュール]でオプションを選択します。
[週単位]または[月単位]をクリックした場合には自動タスクを実行する日時を選択する必要があります。自動タスクをコンピュータがアイドルのときにのみ実行することを指定するオプションもあります。
- 4 [適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

インターネット上のセキュリティの確保

この章では以下の項目について説明しています。

- ノートン ファイアウォールのオンとオフを切り替える
- プログラムルールをカスタマイズする
- ファイアウォールルールの順序を変更する
- トラフィックルールを一時的にオフにする
- 遮断されたプログラムを許可する
- ファイアウォール遮断通知をオフにする
- 侵入防止除外リストからすべてのデバイスを削除する
- ブラウザ保護のオンとオフを切り替える
- エクスプロイト、ハッカー、ゼロデイ攻撃などの脅威から保護するようにノートンを設定する
- 未知の脆弱性保護のオンとオフを切り替える
- 自動遮断のオンとオフを切り替える
- 自動遮断で遮断しているコンピュータの遮断を解除する
- デバイスを[デバイスの信頼]に追加する
- ダウンロードインテリジェンスのオンとオフを切り替える
- スпамフィルタ処理のオンとオフを切り替える
- ノートン製品のインターネット使用率を定義する

- データ通信ポリシーのオンとオフを切り替える

ノートン ファイアウォールのオンとオフを切り替える

スマートファイアウォールは、インターネット上の他のコンピュータとの間の通信を監視します。さらに一般的なセキュリティの問題からコンピュータを保護します。スマートファイアウォールをオフにした場合、コンピュータはインターネットの脅威とセキュリティリスクから保護されません。

スマートファイアウォールをオフにする必要がある場合は、特定の期間のみオフにしてください。その期間が過ぎると、スマートファイアウォールは自動的にオンに戻ります。

ノートン ファイアウォールのオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [一般の設定]ページの[スマートファイアウォール]行で、オン/オフスイッチ[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 4 [適用]をクリックします。
- 5 要求された場合は、ファイアウォール機能をオフにするまでの期間を選択し、[OK]をクリックします。

Windows 通知領域でノートン ファイアウォールを無効または有効にする

- 1 タスクバーの通知領域でノートンのアイコンを右クリックして[スマートファイアウォールを無効にする]または[スマートファイアウォールを有効にする]をクリックします。
- 2 要求された場合は、ファイアウォール機能をオフにするまでの期間を選択し、[OK]をクリックします。

プログラムルールをカスタマイズする

ノートンをしばらく使うと、一定のプログラムのアクセス設定を変更する必要がある場合があります。

プログラムルールをカスタマイズする

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [プログラム制御]ページの[プログラム]列で、変更したいプログラムを選択します。

- 4 変更したいプログラムの横にあるドロップダウンリストでそのプログラムに設定したいアクセスレベルを選択します。次のオプションがあります。

[許可する]	このプログラムによるすべてのアクセスの試みを許可します。
[遮断する]	このプログラムによるすべてのアクセスの試みを拒否します。
[カスタム]	このプログラムがインターネットにどうアクセスするかを制御するルールを作成します。

- 5 [適用]をクリックします。

ファイアウォールルールの順序を変更する

リストごとに上から下にファイアウォールルールが処理されます。ファイアウォールルールの順序を変更することにより、これらのルールをどう処理するかを調整できます。

メモ: 詳しい知識のあるユーザー以外はデフォルトのトラフィックルールの順序を変更しないでください。デフォルトのトラフィックルールの順序を変更するとファイアウォールの機能性に影響し、コンピュータのセキュリティが低下することがあります。

トラフィックルールの順序を変更する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [トラフィックルール]ページで移動したいルールを選択します。
- 4 次のいずれかの操作をします。
 - このルールをその上にあるルールの前に移動するには[上に移動]をクリックします。
 - このルールをその下にあるルールの後ろに移動するには[下に移動]をクリックします。
- 5 ルールの移動が終わったら[適用]をクリックします。

プログラムルールの順序を変更する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [プログラム制御]ページで移動したいルールを含むプログラムを選択します。
- 4 [修正]をクリックします。
- 5 [ルール]ウィンドウで移動したいルールを選択します。
- 6 次のいずれかの操作をします。

- このルールをその上にあるルールの前に移動するには[上に移動]をクリックします。
 - このルールをその下にあるルールの後ろに移動するには[下に移動]をクリックします。
- 7 ルールの移動が終わったら[OK]をクリックします。
 - 8 [ファイアウォール]設定ウィンドウで、[適用]をクリックします。

トラフィックルールを一時的にオフにする

コンピュータまたはプログラムへの特定のアクセスを許可する場合、トラフィックルールを一時的にオフにできます。変更を必要としたプログラムまたはコンピュータの操作が終わったら忘れずにルールを再びオンにしてください。

メモ: リストに表示されるデフォルトのファイアウォールルールには、オフにできないものがあります。
[表示]オプションを使ってこれらのルールの設定の表示のみを行うことができます。

トラフィックルールを一時的にオフにする

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [トラフィックルール]ページでオフにしたいルールの隣にあるチェックボックスのチェックマークをはずします。
- 4 [適用]をクリックします。

遮断されたプログラムを許可する

時にはスマートファイアウォールは特定のプログラムのインターネットアクセスを遮断します。このようなプログラムには特定のストリーミングメディアプログラム、ネットワークゲーム、雇用者が持ち込んだカスタムビジネスアプリケーションが含まれる可能性があります。プログラムのインターネット活動がセキュリティの脅威にならないことがわかっている場合にはそのプログラムのインターネットアクセスを遮断解除できます。

遮断されたプログラムを許可する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [プログラム制御]タブでインターネットアクセスを許可したいプログラムを選択します。
- 4 プログラムエントリの[アクセス]ドロップダウンリストで[許可する]をクリックします。
- 5 [適用]をクリックします。

デフォルトでは、ノートン ファイアウォールは **Web** 対応プログラムの最初の実行時に、そのプログラムに対するインターネットアクセスを自動的に設定します。プログラムが最初にインターネットにアクセスしようとするとき、プログラムの自動制御によりこのプログラム用のルールが作成されます。プログラムのインターネットアクセスの設定を手動で決定したい場合にはプログラムの自動制御をオフにします。プログラムが最初にインターネットにアクセスしようとするとき、アクセスの設定を要求する警告が表示されます。

プログラムの自動制御をオフにする

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [ファイアウォール]設定ウィンドウで、[拡張プログラム制御]をクリックします。
- 4 [プログラムの自動制御]行で、オン/オフスイッチを[オフ]の位置に動かします。

ファイアウォール遮断通知をオフにする

[プログラムの自動制御]がオンになっていると、悪質なアプリケーションや低評価のアプリケーションによるインターネットへの接続やネットワーク上の他のコンピュータとの通信がスマートファイアウォールによって自動的に遮断されます。

アプリケーションによるネットワークへの接続がスマートファイアウォールによって遮断されるとノートンから通知されます。この通知が表示されないようにするには、[拡張プログラム制御]を使ってこの通知をオフにします。

ファイアウォール遮断通知をオフにする

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [プログラムの拡張制御]タブで、[ファイアウォール遮断通知を表示]スイッチを[オフ]の位置に動かします。

侵入防止除外リストからすべてのデバイスを削除する

ネットワーク上のデバイスが安全であるという確信がある場合は、そのデバイスの信頼レベルを[完全な信頼]に変更できます。その後、[IPS スキャンから除外]オプションを選択して、この信頼できるデバイスを侵入防止スキャンから除外できます。[完全な信頼]デバイスを侵入防止スキャンから除外すると、スキャン時間が節約されてコンピュータのネットワーク速度が改善されます。[完全な信頼]デバイスを侵入防止スキャンから除外すると、ノートン製品はこのデバイスから受信する情報をスキャンしません。侵入防止スキャンから除外された[完全な信頼]デバイスは侵入防止除外リストに追加されます。

侵入防止スキャンから除外したデバイスのいずれかが感染していることがわかった場合は、保存されている除外リストをリセットし、すべてのデバイスを削除できます。

保存されている除外リストは、次の状況でリセットできます。

- 侵入防止スキャンから除外したデバイスのいずれかが感染している。
- 侵入防止スキャンから除外したデバイスのいずれかがコンピュータを感染させようとしている。
- ホームネットワークが感染している。

ネットワーク上のデバイスがコンピュータへの感染を試みると、このデバイスからのすべてのアクセス要求が自動遮断によって停止されます。

保存されている除外リストからすべてのデバイスを削除すると、侵入防止は、コンピュータにアクセスするすべてのデバイスからのすべての要求をスキャンします。

侵入防止除外リストからすべてのデバイスを削除する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウの[詳細設定]で[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [侵入防止とブラウザ保護]タブをクリックします。
- 4 [侵入防止]の[除外リスト]行で[リセット]をクリックします。
- 5 確認ダイアログボックスで[はい]をクリックします。
- 6 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

ブラウザ保護のオンとオフを切り替える

ノートン製品を使って未知のプログラムがコンピュータにアクセスするのを遮断することでブラウザを保護するかどうかを選択できます。

デフォルトでは、[ブラウザ保護]オプションはオンになっています。この場合、ノートン製品は新種または未知のマルウェアプログラムがコンピュータを攻撃する前にそのプログラムをプロアクティブに遮断します。ノートン製品は、ブラウザを保護することによって、重要な情報を保全し、攻撃者によるシステムのリモート制御を防止します。この機能は、Internet Explorer 7.0 以降または Firefox 10.0 以降でブラウザの脆弱性の有無を調べます。

メモ: ブラウザ保護の設定が常にオンになるようにして、悪質なサイトによる攻撃から Web ブラウザを保護してください。

ブラウザ保護のオンとオフを切り替える

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウの[詳細設定]で[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [侵入防止とブラウザ保護]タブをクリックします。
- 4 [ブラウザ保護]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。

- 5 [適用]をクリックします。
- 6 要求された場合は、ブラウザ保護機能をオフにするまでの期間を選択し、[OK]をクリックします。
- 7 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

エクスプロイト、ハッカー、ゼロデイ攻撃などの脅威から保護するようにノートンを設定する

ゼロデイ攻撃とは、ハッカーがプログラムの脆弱性を利用して、コンピュータで悪質な行為を実行するために使用する技術のことです。コンピュータの速度が低下したり、プログラムの不具合の原因になったりする以外に、これらの攻撃によって、個人データや機密情報がハッカーにさらされてしまいます。

ノートン製品の未知の脆弱性保護機能は、エクスプロイト攻撃を受けやすいアプリケーションやファイルを保護します。デフォルトでは、ノートン脆弱性保護はオンになっており、脆弱なプログラムを終了してプログラムに対する攻撃を遮断します。ノートンは、プログラムをシャットダウンするときに「遮断された攻撃」通知を送信して、攻撃に関する情報へのリンクを提供します。

未知の脆弱性保護のオンとオフを切り替える

メモ: 未知の脆弱性保護をオフにした場合、コンピュータはゼロデイ攻撃やその他のエクスプロイトに対して脆弱な状態になります。

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[未知の脆弱性保護]をクリックします。
- 3 [未知の脆弱性保護]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 4 [設定]ウィンドウで、[適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

未知の脆弱性保護の技術

ノートンは、未知の脆弱性保護の技術を使用して、最新のゼロデイ攻撃からコンピュータを保護します。[設定]ウィンドウで個別の技術のオンとオフを切り替えることができます。デフォルトでは、すべての技術はオンになっています。

メモ: ノートンでは、すべての脆弱性保護技術をオンにして、幅広い攻撃から保護することをお勧めします。

未知の脆弱性保護には次の技術が含まれます。

- **Java プロセス保護**
リモートのハッカーが **Java** プロセスを通じて悪質なコードを利用するのを防ぎ、信頼できる **Java** プロセスのみ実行を許可します。

- **SEH (Structured Exception Handler) Overwrite 防止**
例外ハンドラのポインタを攻撃者が制御するアドレスで上書きすることによってアプリケーションに不正アクセスする、構造化例外を利用したエクスプロイトから保護します。
- **スタックピボットの検出**
スタックのポインタを攻撃者が制御するメモリで変更して、ROP (Return Oriented Programming) によって製作された攻撃コードを実行するエクスプロイト攻撃を遮断します。
- **データ実行防止のエンフォースメント**
コンピュータのスタックやヒープメモリからの攻撃者による悪質なコードの実行を遮断します。
- **メモリ配置のランダム化のエンフォースメント**
攻撃者から保護するため、動的にロードされたアプリケーションの DLL やモジュールが常にランダムな場所にロードされるように強制します。
- **ヒープスプレー攻撃防止**
エクスプロイトや攻撃者がヒープスプレー攻撃技術を使用してシェルコードを割り当てるときに標的となりやすいメモリの場所を保護します。
- **メモリ配置のランダム化の拡張**
アプリケーションの重要なメモリの場所を割り当てるときに、オペレーティングシステムの ASLR (アドレス空間配置のランダム化) の動作を改善します。これによって、メモリの場所を攻撃者が予測しにくくなります。
- **Null ページ攻撃防止**
Null メモリの場所を事前に割り当てます。これによって、攻撃者が、Null ポインタ逆参照の脆弱性を利用しにくくなります。
- **リモート DLL インジェクションの検出**
リモートのハッカーが、パブリック IP アドレスやドメインなどの外部ネットワークを経由して悪質な実行可能コードを挿入するのを防ぎます。
- **スタック実行防止、疑わしい API 呼び出しの検出、ヒープペイロードの検出技術は、アドレス空間配置のランダム化やデータ実行防止などのエクスプロイト緩和技術を回避する ROP (Return-Oriented Programming) 攻撃からコンピュータを保護します。**

未知の脆弱性保護のオンとオフを切り替える

未知の脆弱性保護では、攻略攻撃を受けやすいアプリケーションとファイルを保護します。デフォルトでは、ノートンの未知の脆弱性保護が有効になっています。

メモ: お使いのコンピュータを攻略攻撃から保護するために、未知の脆弱性保護設定をオンにしたままにしておくことをお勧めします。

未知の脆弱性保護のオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウの[詳細設定]で[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [侵入防止とブラウザ保護]タブをクリックします。
- 4 [未知の脆弱性保護]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 5 [設定]ウィンドウで、[適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

自動遮断のオンとオフを切り替える

ノートン侵入自動遮断は、ネットワークのデバイスとそのデバイスを悪用しようとする他のコンピュータの間のすべてのトラフィックを停止します。これには悪質ではないと考えられるトラフィックが含まれるため、自動遮断は、脅威が検出されてから一定期間のみ接続を停止します。ノートン製品が攻撃側のコンピュータからの接続を遮断する期間を指定できます。デフォルトでは、ノートン製品は自分のコンピュータと攻撃側のコンピュータ間のすべてのトラフィックを 30 分間遮断します。

アクセスする必要のあるコンピュータを自動遮断が遮断している場合には自動遮断を無効にできません。

自動遮断のオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで[ファイアウォール]または[ネットワーク]をクリックします。
- 3 [侵入防止とブラウザ保護]タブをクリックします。
- 4 [侵入防止]の[侵入自動遮断]行で[設定]をクリックします。
- 5 [侵入自動遮断]ウィンドウの[自動遮断]で次のいずれかの操作をします。
 - 侵入自動遮断をオフにするには[オフ]をクリックします。
 - 侵入自動遮断をオンにするには、[オン (推奨)]をクリックしてから、[自動遮断で攻撃側コンピュータを遮断する期間]ドロップダウンリストで自動遮断をオンにする期間を選択します。
- 6 [侵入自動遮断]ウィンドウで[OK]をクリックします。
- 7 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

自動遮断で遮断しているコンピュータの遮断を解除する

ノートン ファイアウォールが安全であることが分かっているコンピュータへのネットワークトラフィックを停止している場合、ノートン ファイアウォール設定の自動遮断リストから削除して、コンピュータへの接続を回復できます。

自動遮断で遮断しているコンピュータの遮断を解除する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで[ファイアウォール]または[ネットワーク]をクリックします。
- 3 [侵入防止とブラウザ保護]タブをクリックします。
- 4 [侵入防止]の[侵入自動遮断]行で[設定]をクリックします。
- 5 [侵入自動遮断]ウィンドウの[現在自動遮断が遮断しているコンピュータ]で、コンピュータの IP アドレスを選択します。
- 6 [処理]列の下で、ドロップダウンリストから[遮断しない]を選択します。
- 7 [侵入自動遮断]ウィンドウで[OK]をクリックします。
- 8 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

デバイスを[デバイスの信頼]に追加する

[デバイスの信頼]に手動でデバイスを追加できます。次の情報を指定してデバイスを追加できます。

- デバイスの名前または説明
- デバイスの IP アドレスまたは物理アドレス

メモ: 自分のネットワーク上にないデバイスを信頼する場合、コンピュータは潜在的なセキュリティリスクに対して無防備になる可能性があります。

デバイスを[デバイスの信頼]に追加する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [一般の設定]タブの[デバイスの信頼]行で、[設定]をクリックします。
- 4 [デバイスの信頼]ウィンドウで、[追加]をクリックします。
- 5 [デバイスの追加]ウィンドウの[名前]ボックスにネットワークに追加するデバイスの名前を入力します。

デバイス名の最大長は 15 文字以下にする必要があります。

- 6 [IP アドレスまたは物理アドレス]ボックスにデバイスの信頼に追加するデバイスの IP アドレスまたは物理アドレスを入力します。

[IP アドレスまたは物理アドレス]フィールドでは次の形式が使えます。

IPv4 アドレス	172.16.0.0
IPv6 アドレス	fe80::12ac:fe44:192a:14cc
物理アドレス	11-22-c3-5a-fe-a4
解決可能なホスト	ftp.myfiles.com

指定したアドレスはそのデバイスがネットワーク上で物理的に見つかるまで検証されません。

- 7 [信頼レベル]ドロップダウンメニューから任意のオプションを選択します。次のオプションがあります。

[完全な信頼]	デバイスを[完全な信頼]リストに追加します。 [完全な信頼]のデバイスは既知の攻撃と感染についてのみ監視されます。この設定はデバイスが完全に安全であるという確信があるときのみ選択してください。
[制限]	デバイスを[制限]リストに追加します。 制限デバイスはこのコンピュータにアクセスできません。

- 8 デバイスを侵入防止スキャンから除外する場合は、[IPS スキャンから除外]にチェックマークを付けます。
- 9 [デバイスの追加]をクリックします。

ダウンロードインテリジェンスのオンとオフを切り替える

ダウンロードインサイトは、サポート対象のブラウザを使ってダウンロードした後に実行される可能性がある安全でないファイルから、コンピュータを保護します。デフォルトでは、[ダウンロードインテリジェンス]オプションはオンになっています。この場合、ダウンロードインサイトはダウンロードした実行可能ファイルの評価レベルを通知します。ダウンロードインサイトが提供する評価の詳細には、ダウンロードしたファイルをインストールして安全かどうかを示されます。

場合によっては、ダウンロードインサイトをオフにしたいことがあります。たとえば、安全でないファイルをダウンロードする場合です。この場合、ファイルをダウンロードを許可してノートン製品がそのファイルをコンピュータから削除しないようにダウンロードインサイトをオフにする必要があります。

[ダウンロードインテリジェンス]オプションを使って、ダウンロードインサイトをオフまたはオンにできます。

ダウンロードインテリジェンスのオンとオフを切り替える

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで[ファイアウォール]または[ネットワーク]をクリックします。
- 3 [侵入防止とブラウザ保護]タブをクリックします。
- 4 [ダウンロードインテリジェンス]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 5 [適用]をクリックします。
- 6 要求された場合は、ダウンロードインテリジェンス機能をオフにするまでの期間を選択し、[OK]をクリックします。
- 7 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

スパムフィルタ処理のオンとオフを切り替える

電子メールの使用が増加するにつれ、多くのユーザーがスパムと呼ばれる不要で迷惑な営利目的の電子メールメッセージを大量に受け取っています。スパムは有効な電子メールメッセージを識別しにくくするだけでなく、一部のスパムは不快なメッセージやイメージを含みます。

これらのスパムメールを制御するには、スパムフィルタ処理を使います。デフォルトではスパム防止は有効な状態のままです。何らかの理由で無効にしたい場合にはプログラム自体の内部からオフにできます。

メモ: ノートン アンチスパムをオフにすると迷惑メールメッセージを受け取る可能性が高くなります。

スパムフィルタ処理のオンとオフを切り替える

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[スパム対策]をクリックします。
- 3 [フィルタ]タブの[スパム対策]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 4 スパムフィルタ処理をオフにする場合は、次の操作を実行します。
 - [セキュリティ要求]ウィンドウの[期間を選択してください。]ドロップダウンリストでスパムフィルタ処理をオフにする期間を選択します。
- 5 [適用]をクリックします。
- 6 [OK]をクリックします。
- 7 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

ノートン製品のインターネット使用率を定義する

[データ通信ポリシー]を使うと、ノートン製品が使うネットワーク帯域幅を制御できます。デフォルトでは、[データ通信ポリシー]はオンになっており、[自動]に設定されています。Windows 7 以前の場合のデフォルト設定は[無制限]です。インターネット接続の速度が低下している場合は、ノートン製品が使う帯域幅を減らすことができます。[データ通信ポリシー]の設定を変更すると、コンピュータが使うすべてのネットワーク接続の通信ポリシーを設定することもできます。

ノートン製品のインターネット使用率を定義する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
- 3 [一般の設定]タブの[データ通信ポリシー]行で[設定]をクリックします。[設定]オプションが無効な場合は、オン/オフスイッチを[オン]の位置に動かします。
- 4 [データ通信ポリシー]設定ウィンドウの[ポリシー]列で、ポリシーを設定するネットワーク接続の横にあるドロップダウンリストをクリックします。
- 5 次のいずれかを選択します。
 - [自動]: ノートンは Windows のデータ通信ポリシーに基づいてすべての製品とウイルス定義の更新を受信できます。

メモ: [自動]オプションは Windows 8 以降でのみ利用できます。

- [無制限]: ノートンは必要なネットワーク帯域幅を使って、すべての製品とウイルス定義の更新を受信します。Windows 7 以前を使っている場合、デフォルトポリシーは[無制限]です。
 - [節約]: ノートン製品は、重要な製品のアップデートやウイルス定義を受信する場合にのみインターネットにアクセスできます。インターネット接続が制限されている場合は、[節約]を設定すると、致命的なセキュリティの脅威から保護されます。
 - [トラフィックなし]: ノートンによるインターネットへの接続を遮断します。このポリシーを選択した場合、ノートンは重要なウイルス定義とプログラムの更新を受信できません。そのため、潜在的な危険とウイルス攻撃にさらされる可能性があります。
- 6 [適用]をクリックしてから[OK]をクリックします。
 - 7 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

データ通信ポリシーのオンとオフを切り替える

ノートン製品のインターネット使用率を制限するポリシーを設定できます。ノートン製品のインターネット使用率を制限しない場合は、[データ通信ポリシー]をオフにします。

ノートン製品が使うネットワーク帯域幅が大きすぎると考えられる場合は、[データ通信ポリシー]をオンにします。次に、ノートン製品のインターネット使用率を制限するポリシーを設定します。ノートン製品は、[データ通信ポリシー]設定ウィンドウで設定されているポリシーに基づいてインターネットに接続します。デフォルトでは、[データ通信ポリシー]はオンになっています。

データ通信ポリシーのオンとオフを切り替える

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[ファイアウォール]をクリックします。
ノートン アンチウイルスをインストールしている場合、[ネットワーク]をクリックします。
- 3 [一般の設定]タブの[データ通信ポリシー]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 4 [設定]ウィンドウで、[適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

重要なデータの保全

この章では以下の項目について説明しています。

- ノートンのブラウザ拡張機能を追加する
- ノートン セーフウェブのオンとオフを切り替える
- ノートン セーフサーチを使って Web を検索する
- Web インサイト
- フィッシング対策
- ID セーフにアクセスする
- ID セーフのオンとオフを切り替える
- クラウド ID セーフデータベースの作成
- クラウド ID セーフデータベースを削除する
- ID セーフデータをエクスポートする
- ID セーフデータをインポートする
- ノートン ツールバーを有効または無効にする
- Norton Shopping Guarantee

ノートンのブラウザ拡張機能を追加する

ノートンをインストールした後に、Web ブラウザにノートンのブラウザ拡張機能を追加するように求められます。ノートンは、Internet Explorer、Firefox、Chrome の各ブラウザに拡張機能を追加します。

ノートン セキュリティのブラウザ固有のすべての機能に簡単にアクセスするには、ノートンのブラウザ拡張機能を有効にする必要があります。ノートンのブラウザ拡張機能に含まれる内容:

ノートン セーフウェブ

オンラインで安全にネットサーフィン、検索、ショッピングができる安全な検索体験。ノートン セーフウェブは、ユーザーがアクセスする **Web** サイトを分析して、ウイルス、スパイウェア、マルウェア、またはその他の脅威を検出します。

ノートン セーフウェブについて

ノートン セーフサーチ

Ask.com を使って検索結果を生成する安全な検索エンジン。ノートンセーフサーチは、サイトの安全性状態とノートン評価に基づいて検索結果をランク表示します。

ノートン ホームページ

ノートン セーフサーチ機能を使用して **Web** 検索機能を拡張する **Web** サイト。生成されたそれぞれの検索結果にサイトの安全性状態とノートン評価を表示します。

ノートン ID セーフ

ログイン情報、個人情報、金融情報などのすべての重要な情報を保存できる安全な場所。保存した情報は、**Web** サイトへのログイン時、オンラインフォームやオンライン支払いの自動入力で使うことができます。

Internet Explorer

Internet Explorer にノートンのブラウザ拡張機能を追加する

- 1 ノートンを初めてインストールすると、新しい **Internet Explorer** セッションを開始したときに新しいウィンドウで[ブラウザ保護]ページが自動的に開きます。
- 2 [ブラウザ保護]ページで、[ノートン セキュリティツールバー]の[有効にする]オプションをクリックします。
- 3 表示された拡張機能のポップアップで[拡張機能を追加する]をクリックします。
- 4 [ノートン セキュリティツールバー]を有効にした後に、ブラウザに対してノートン セーフサーチ拡張機能、ノートン ホームページ拡張機能、ノートン ID セーフ拡張機能を有効にできます。
[クリックして追加]オプションを使って、画面上の指示に従ってこれらの機能を有効にできます。
- 5 いずれの拡張機能もインストールしなかった場合、1 週間後以降に **Internet Explorer** を起動すると[**Internet Explorer** の保護の警告]という通知が表示されます。
[今すぐインストール]をクリックして、画面上の指示に従って拡張機能をインストールします。

メモ: ノートン拡張機能を後で有効にする場合は、[後で通知する]をクリックします。この通知警告が表示されないようにするには、[今後確認しない]をクリックします。

Google Chrome

Google Chrome にノートンのブラウザ拡張機能を追加する

メモ: Google Chrome のブラウザ拡張機能をインストールするには、最新バージョンのノートンセキュリティが必要です。最新バージョンがない場合は、[ノートン製品でライブアップデートを実行してください](#)。ノートンは Google Chrome ブラウザに次の拡張機能を提供します。

- ノートン セキュリティツールバー
- ノートン ID セーフ
- ノートン セーフサーチ
- ノートン ホームページ

Firefox のブラウザ拡張機能のインストール手順を次に示します。

- 1 ノートンを初めてインストールすると、新しい Google Chrome セッションを開始したときに新しいウィンドウで[ブラウザ保護]ページが自動的に開きます。
[ブラウザ保護]ページは、[個人情報]メニューの[今すぐ設定]オプションをクリックしても起動できます。
- 2 [ブラウザ保護]ページで、[ノートン セキュリティツールバー]の[クリックして追加]オプションをクリックします。
- 3 表示された拡張機能のポップアップで[拡張機能を追加する]をクリックします。
- 4 ノートンセキュリティツールバーを有効にした後に、ブラウザでノートンセーフサーチ拡張機能、ノートンホームページ拡張機能、ノートン ID セーフ拡張機能を有効にできます。[クリックして追加]オプションを使用して、画面上の指示に従ってこれらの拡張機能を有効にできます。

Google Chrome ですべてのノートン拡張機能を有効にするには、[ノートンのすべての拡張機能を無料で追加]をクリックして画面上の指示に従います。

- ノートンセキュリティツールバー拡張機能をインストールしなかった場合、1週間後に Google Chrome を起動すると[Chrome の保護が削除されました]という警告通知が表示されます。

- いずれの拡張機能もインストールしなかった場合、1 週間後に **Google Chrome** を起動すると[**Google Chrome** の保護の警告]という通知が表示されます。
- 5 [今すぐインストール]をクリックして、画面上の指示に従って拡張機能をインストールします。

メモ: ノートン拡張機能を後で有効にする場合は、[後で通知する]をクリックします。この通知警告が表示されないようにするには、[今後このメッセージを表示しない]をクリックします。

Mozilla Firefox

Mozilla Firefox にノートンのブラウザ機能を追加する

メモ: Mozilla Firefox の Web ベースのスタンドアロンのブラウザ拡張機能をインストールするには、最新バージョンのノートン セキュリティが必要です。最新バージョンがない場合は、[ノートン製品でライブアップデートを実行してください](#)。ノートンは **Firefox** ブラウザに次の拡張機能を提供します。

- ノートン セーフウェブ
- ノートン セーフサーチ
- ノートン ホームページ
- ノートン ID セーフ

Firefox のブラウザ拡張機能のインストールまたはアップグレードの手順を次に示します。

- 1 ノートンを初めてインストールすると、新しい **Mozilla Firefox** セッションを開始したときに新規ウィンドウまたはタブで[ブラウザ保護]ページが自動的に開きます。

ノートンのアップグレードが完了していたら、[ブラウザ保護]警告ウィンドウで[OK]をクリックすると拡張機能のページが表示されます。

メモ: [ブラウザ保護]ページは、[個人情報]メニューの[今すぐ設定]オプションをクリックしても起動できます。

- 2 [ブラウザ保護]ページで、[ノートン セーフウェブ]の[有効にする]オプションをクリックします。
- 3 表示された拡張機能のポップアップで[許可]をクリックします。

ノートン セーフウェブを有効にした後に、ブラウザでノートン セーフサーチ機能、ノートンホームページ機能、ノートン ID セーフ機能を有効にできます。[有効にする]オプションを使用して、画面上の指示に従ってこれらの機能を有効にできます。

Firefox ですべてのノートン拡張機能を有効にするには、[ノートンのすべての拡張機能を無料で追加]をクリックして画面上の指示に従います。

拡張機能をインストールしなかった場合、1 週間後に **Firefox** を起動すると[Firefox の保護の警告]という警告通知が表示されます。ノートン拡張機能を後で有効にする場合は、[後で通知する]をクリックします。この通知警告が表示されないようにするには、[今後このメッセージを表示しない]をクリックします。[後で通知する]を選択した場合、1 週間後に **Firefox** で保護警告通知が表示されます。通知から[今すぐインストール]オプションをクリックして、画面上の指示に従って拡張機能をインストールします。

インストールしている OS が **Microsoft XP** または **Microsoft Vista** の場合、ノートン セーフウェブ拡張機能のみ使用できます。

ノートン セーフウェブのオンとオフを切り替える

ノートン セーフウェブは、**Internet Explorer**、**Firefox**、または **Chrome** を使って閲覧、検索、またはショッピングを行うユーザーを保護します。表示する **Web** サイトのセキュリティレベルを分析し、**Web** サイトが脅威を受けていないかどうかを示します。検索結果の横にサイト評価アイコンが表示されるため、**Web** サイトにアクセスする前に、そのサイトが悪質かどうかを確認することができます。

Google Chrome の[拡張機能]ページからノートン セーフウェブのオンとオフを切り替える

- 1 **Google Chrome** を起動します。
- 2 右上の[設定]をクリックします。
- 3 [設定]ウィンドウで、[その他のツール]をクリックしてから[拡張機能]をクリックします。

- 4 [拡張機能] ページでノートン セーフウェブが有効になっている場合、[有効] のチェックマークをはずします。

ノートン セーフウェブが無効になっている場合、[有効] ボックスにチェックマークを付けます。

- 5 Google Chrome を再起動します。

Mozilla Firefox の[アドオン] ページからノートン セーフウェブのオンとオフを切り替える

- 1 Mozilla Firefox を起動します。
- 2 Firefox メニューで[アドオン] をクリックします。
- 3 [拡張機能] タブで[有効化] をクリックします。

ノートン セーフウェブがグレー表示されていない場合、[無効化] をクリックします。

- 4 Mozilla Firefox を再起動します。

ノートン セーフサーチを使って Web を検索する

ノートン セーフサーチは Web 検索操作を拡張します。ノートン セーフサーチを使ってインターネットを検索すると、ノートン セーフサーチは Ask.com を使って検索結果を生成します。ノートン セーフサーチは、生成された検索結果ごとにサイトの安全性状態とノートン 評価を表示します。

ノートン セーフサーチは、検索語句のいくつかの文字を入力したときに検索のヒントを表示する高度なインクリメンタル機能を提供します。

メモ: ノートン セーフサーチ機能は、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、日本、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、米国、英国など、一部の地域でのみ利用可能です。プライバシー保護機能は、米国、英国、カナダでのみ利用可能です。

ID セーフ機能をオフにしている場合でも、ノートン セーフサーチを使うことができます。

メモ: ノートン セーフサーチをサポートするブラウザは、Internet Explorer、Firefox、Chrome のみです。

ノートン セーフサーチを使って Web を検索する

- 1 ブラウザを開きます。
- 2 ノートン ツールバーの[ノートン セーフサーチ] フィールドに、検索したい検索文字列を入力します。
- 3 次のいずれかの操作をします。
 - [セーフサーチ] をクリックします。

- 表示されるポップアップウィンドウで、検索文字列に一致する検索のヒントを選択します。

ツールバーの[ノートン セーフサーチ]フィールドを有効にする

メモ: この機能は Internet Explorer でのみ利用できます。

ノートンをインストールすると、ノートン ツールバーが Internet Explorer に追加されます。Internet Explorer を開くと、ツールバーの[ノートン セーフサーチ]フィールドを有効にすることを求めるメッセージが表示されます。

ノートンセーフサーチを手動で無効にした後、もう一度有効にする場合は、以下の手順に従います。

- 1 ブラウザを開きます。
- 2 ノートン ツールバーで、(...) アイコンをクリックします。
- 3 表示されるメニューで、[ノートン セーフサーチ]の横のスイッチを[オフ]の位置に動かします。

[ノートン セーフサーチ]フィールドを有効にするには、次の操作を実行します。

- 1 ブラウザを開きます。
- 2 ノートン ツールバーで、(...) アイコンをクリックします。
- 3 表示されたメニューで、[ノートン セーフサーチ]の横のスイッチを[オフ]の位置に動かします。

Web インサイト

Web インサイトを使うと、住基ネット個人 ID またはクレジットカードなどの重要な情報が詐欺サイトに漏えいするのを防止できます。評価ベースの脅威の検出を使って疑わしい Web サイトや脆弱な Web サイトを検出する場合に役立ちます。個人情報の入力が必要な Web サイトを主な対象としています。

[ノートン セーフウェブ]ポップアップウィンドウは、アクセスする Web サイトが安全か安全でないかを把握するのに役立ちます。

フィッシング対策

フィッシング対策によって、安全でない Web サイトを表示しないように保護されます。フィッシング対策機能は、ユーザーがアクセスするすべての Web サイトのセキュリティレベルを分析し、その結果を [ノートン セーフウェブ]ポップアップウィンドウに表示します。フィッシング対策は、詐欺サイトであると確認されている Web サイトへの移動も遮断します。

[ノートン セーフウェブ]ポップアップウィンドウは、アクセスする Web サイトが安全か安全でないかを把握するのに役立ちます。

ID セーフにアクセスする

次の領域から ID セーフにアクセスできます。

- 製品のメインウィンドウの[個人情報]セクションから
- ノートン ID セーフツールバーから

[Web 保護]ペインの[ログイン情報]と[カード]オプションを使って、[ログイン情報の管理]ウィンドウと[カードの管理]ウィンドウにそれぞれアクセスできます。

製品のサブスクリプションが終了した後も、すべての ID セーフデータにアクセスできます。次に、製品のサブスクリプションが終了した後に表示またはアクセスできる機能を示します。

ログイン情報	オンライン銀行口座のログイン資格情報、電子メールのユーザー ID、パスワードなどの保存されたログイン情報を確認できます。
アドレス	名前、生年月日、住所、電子メールアドレス、電話番号などの保存された個人情報を確認できます。
ウォレット	クレジットカード情報、銀行口座情報、クレジット支払いの詳細などの保存された経済的情報を確認できます。
メモ	後で参照できるよう入力したテキストを確認できます。

メモ: ID セーフ機能にアクセスするには ID セーフにサインインする必要があります。ID セーフ機能は、Internet Explorer、Firefox、Chrome ブラウザでのみサポートされます。

ID セーフのオンとオフを切り替える

ID セーフによって、オンライントランザクションの実行中に ID 情報を管理し、セキュリティを強化することができます。ID セーフのさまざまな機能を使って、住所、生年月日、クレジットカード情報などの個人データを管理できます。

ID セーフは、Google Chrome の[拡張機能]ページまたは Mozilla Firefox の[アドオン]ページからオンまたはオフに切り替えられます。

Google Chrome の[拡張機能]ページから ID セーフのオンとオフを切り替える

- 1 Google Chrome を起動します。
- 2 右上の[設定]をクリックします。
- 3 [設定]ウィンドウで、[その他のツール]をクリックしてから[拡張機能]をクリックします。

- 4 [拡張機能] ページでノートン ID セーフが有効になっている場合、[有効] のチェックマークをはずします。

ノートン セーフウェブが無効になっている場合、[有効] ボックスにチェックマークを付けます

- 5 Google Chrome を再起動します

Mozilla Firefox の [アドオン] ページから ID セーフをオフにする

- 1 Mozilla Firefox を起動します。
- 2 Firefox メニューで [アドオン] をクリックします。
- 3 [拡張機能] タブで [ノートン ID セーフ] をクリックします。
- 4 [ノートン セーフウェブ] がグレー表示されている場合、[有効化] をクリックします。
ノートン セーフウェブがグレー表示されていない場合、[無効化] をクリックします。
- 5 Mozilla Firefox を再起動します。

クラウド ID セーフデータベースの作成

ID セーフでは、クラウド ID セーフデータベースを作成し、ID セーフデータを保存できます。ノートン アカウントごとにクラウド ID セーフデータベースを 1 つ作成できます。新しいローカル ID セーフデータベースを作成できません。ただし、ノートン製品をアップグレードするときに既存のローカル ID セーフデータベースのデータをクラウド ID セーフデータベースに移動できます。ID セーフデータをローカル ID セーフデータベースからクラウド ID セーフデータベースに移動すると、ローカル ID セーフデータベースにアクセスできなくなります。クラウド ID セーフデータベースを使うと、移動中に ID セーフデータを簡単に使うことができます。

クラウド ID セーフデータベースには、インターネットに接続されているコンピュータからアクセスできます。

クラウド ID セーフデータベースを作成するには

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[個人情報] をダブルクリックしてから [ID セーフ] をクリックします。
- 2 [始めましょう] ウィンドウで [サインイン] をクリックします。
ノートン アカウントを持っていない場合は、[今すぐサインアップ] リンクを使って新しいノートン アカウントを作成します。
- 3 [新しい ID セーフデータベースの作成: ID セーフパスワード] ウィンドウの [ID セーフパスワード] ボックスに、パスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
- 4 [ID セーフデータベースの作成: パスワードの確認] ウィンドウに、確認のためにパスワードを再び入力し、[次へ] をクリックします。

- 5 [ID セーフデータベースの作成: パスワードのヒント]フィールドにパスワードのヒントを入力し、[次へ]をクリックします。

ID セーフデータのバックアップがすでにある場合は、[インポート]をクリックし、新しいアカウントに結合するバックアップファイルを選択します。
- 6 [完了]をクリックします。

クラウド ID セーフデータベースを削除する

クラウド ID セーフデータベースは暗号化されて、ノートンアカウントのパスワードと ID セーフパスワードを使う方法でのみアクセスできます。クラウド ID セーフデータベースの削除は手動で実行する必要があります。デバイスからノートンをアンインストールした場合でも、他のデバイスから引き続き ID セーフデータベースを使えます。

警告: ID セーフデータベースを削除すると、ID セーフデータベースに保管したすべての ID セーフデータが完全に削除されます。後で ID セーフデータベースのデータを使う可能性があると思われる場合は、ID セーフデータベースを削除しないでください。

クラウド ID セーフデータベースを削除する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[個人情報]をダブルクリックしてから[ID セーフ]をクリックします。
- 2 [ID セーフデータベースは閉じています]ウィンドウで、不正なパスワードを 3 回入力します。
- 3 [ID セーフデータベースを削除する必要がありますか。]の横にある[ここをクリック]リンクをクリックします。オプションの横に表示されるので、これをクリックします。
- 4 [ID セーフデータベースの削除]ウィンドウで、[はい、ID セーフデータベースを削除します]をクリックします。
- 5 [警告]ダイアログボックスで、[はい]をクリックします。
- 6 検証のためにノートン アカウントのパスワードを入力して[サインイン]をクリックします。
- 7 確認ウィンドウで[OK]をクリックします。

ノートンをアンインストールした後にクラウド ID セーフデータベースアカウントにアクセスする方法

- 1 ノートン アカウントの資格情報を使ってノートン ID セーフ Web ページに[サインイン](#)します。
- 2 [ID セーフデータベースを開く]ウィンドウに ID セーフデータベースのパスワードを入力し、[ID セーフデータベースを開く]をクリックします。

ID セーフデータをエクスポートする

セキュリティ目的やデータ回復のため、または ID セーフデータを新しいコンピュータに移す場合に、ID セーフデータをエクスポートできます。ID セーフパスワードはリセットできません。そのため、ID

セーフデータベースデータのバックアップを定期的を作成することをお勧めします。自動バックアップ機能を有効にすると、ID セーフデータベースのバックアップが自動的に作成され、ローカルデバイスに保存されます。

製品のサブスクリプションが終了したときは、ID セーフデータを取得できます。

メモ: ノートン ID セーフは、ノートン パスワードマネージャ (.NPM) ファイルのエクスポートを許可しません。

ID セーフデータをエクスポートする

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[個人情報]をダブルクリックしてから[ID セーフ]をクリックします。
 - 2 [ノートン ID セーフ]ウィンドウの下部に表示される[設定]アイコンをクリックします。
 - 3 [インポート/エクスポート]タブをクリックします。
 - 4 [エクスポート]ペインで、ファイル形式を選択します。
次のいずれかを選択できます。
 - [ID セーフバックアップ形式 - DAT ファイル]
セキュリティの向上のためにパスワードを設定してデータのバックアップを作成したい場合、パスワードを入力して確認します。
 - [テキスト形式 - CSV ファイル (ログイン情報とメモのみ)]
- ID セーフデータベースのバックアップは My Documents¥Norton Identity Safe Backups¥<ノートン アカウント名> にあります。
- 5 [エクスポート]をクリックします。
 - 6 [ID セーフパスワードを確認]ウィンドウで、ID セーフデータのエクスポートに使う ID セーフパスワードを入力します。
 - 7 確認ダイアログボックスで[OK]をクリックします。

ID セーフデータをインポートする

以前にバックアップしたファイルから ID セーフデータをインポートできます。古いバージョンのノートン製品で保存したポータブルプロファイルから ID セーフデータをインポートすることもできます。

[既存のデータにインポートしたデータを結合する]と[インポートしたデータで既存のデータを置換する]オプションは、バックアップファイルから ID セーフデータをインポートする場合に表示されます。インポートしたデータを現在サインインしている ID セーフデータベースと結合することも、ID セーフデータベースに保存している既存のデータを置き換えることもできます。

メモ: インポート時のファイルサイズは、.CSV ファイルの場合は **15 MB** 以下である必要があります。また、ID セーフはノートン パスワードマネージャ (.NPM) ファイルのインポートを許可しません。

データをインポートする

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[個人情報]をダブルクリックしてから[ID セーフ]をクリックします。
- 2 [ノートン ID セーフ]ウィンドウの下部に表示される[設定]アイコンをクリックします。
- 3 [インポート/エクスポート]タブをクリックします。
- 4 [インポート]行で、[インポート]をクリックします。
- 5 [ID セーフデータベースのインポート]ウィンドウで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [既存のデータにインポートしたデータを統合する]
 - [インポートしたデータで既存のデータを置換する]
- 6 [インポート]をクリックします。
- 7 インポートするファイルの場所を参照します。
ID セーフデータベースのバックアップは **My Documents\Norton Identity Safe Backups\<ノートン アカウント名>** にあります。
- 8 そのファイルを選択してから[開く]をクリックします。
- 9 現在使っている ID セーフデータベースとインポートする ID セーフデータベースに格納したログイン情報のパスワードが異なる場合は、確認メッセージが表示されます。次のいずれかを選択します。
 - クラウド ID セーフデータベースに格納されているパスワードを保持するには、[既存のパスワードを保存する]をクリックします。
 - クラウド ID セーフデータベースに格納されているパスワードをインポートする ID セーフデータベースに格納されているパスワードで上書きするには、[インポートしたパスワードを保存する]をクリックします。
- 10 確認ダイアログボックスで[OK]をクリックします。

ノートン ツールバーを有効または無効にする

ノートンツールバーが有効になっている場合、ノートン ID セーフに[ノートンセーフウェブ]ポップアップウィンドウと、訪問する Web サイトのセキュリティランキングが表示されます。ツールバーが無効になっている場合、ノートン ID セーフに[ノートン セーフウェブ]ポップアップウィンドウは表示されませんが、疑わしいサイトや詐欺サイトについては通知されます。

ノートン ツールバーを有効または無効にする

◆ 希望のブラウザを開きます。

- Internet Explorer で、メニューバーを右クリックし、[ノートン ツールバー]のチェックマークを付けるかはずして有効または無効にして、画面上の指示に従います。
- Mozilla Firefox で、[ツール]、[アドオン]、[拡張]の順にクリックします。[拡張]ページのノートン ID セーフツールバーで、[有効にする]または[無効にする]をクリックします。
- Google Chrome で、chrome://extensions に移動します。[拡張]ページの[ノートン セキュリティツールバー]と[ノートン ID セーフ]で、[有効]のチェックマークを付けるかはずします。

Norton Shopping Guarantee

Norton Shopping Guarantee は、ノートン セキュリティのお客様にノートン セキュアドとして保証する販売元サイトで購入するときにメリットを提供します。Norton Shopping Guarantee の販売元から購入するときに、苦情申請に使用できる Norton Shopping Guarantee 証明書を受け取ります。この機能への登録は無料であり、すべてのノートン セキュリティユーザーが使用できます。

Norton Shopping Guarantee 機能は、ノートン ツールバーを有効化して、Google Chrome ブラウザでノートン セーフサーチを設定したユーザーが時間限定で使用できます。ノートン セーフサーチのユーザーは、ノートン セキュアドとして保証される販売元での購入で、無料の Norton Shopping Guarantee で保護されます。

Norton Shopping Guarantee アイコンはノートン ツールバーにタイトルとして表示されます。また、ユーザーが Norton Shopping Guarantee 対象の販売元の Web サイトを表示するときは、ノートン セーフサーチの注釈としても表示されます。

Norton Shopping Guarantee のメリット

購入の保証

Norton Shopping Guarantee の小売業者が取引条件を満たせなかった場合、最大 1000ドルの返金を申請できます。

メリットの詳細と使用条件を確認するには、Norton Shopping Guarantee のシールをクリックするか、保証確認の電子メールを確認してください。Norton Shopping Guarantee のメリットは、製品購入日から 30 日間有効です。

Norton Shopping Guarantee で購入を登録する

Norton Shopping Guarantee で購入を登録するには、ノートン アカウントにログインする必要があります。ノートン アカウントにログインせずに購入する場合、Norton Shopping Guarantee Web サイトにログインして購入を手動で登録できます。

購入の登録

- 1 ノートンツールバーで Norton Shopping Guarantee アイコンをクリックして、[購入の登録]をクリックします。
- 2 ノートンの[Shopping Guarantee 購入者サービスセンター]ページでノートン アカウントの資格情報を入力して、[ログイン]をクリックします。
- 3 [保証される取引]ページで画面上の指示に従って製品の購入を登録します。

Norton Shopping Guarantee で購入の苦情を申請する

購入時に個人情報漏えいしたと考える場合、または Norton Shopping Guarantee の販売元が取引条件を満たさなかった場合、購入の苦情を申請することができます。

購入の苦情を申請する

- 1 ノートンツールバーの Norton Shopping Guarantee アイコンをクリックして、[苦情を申請する]をクリックします。
- 2 ノートンの[Shopping Guarantee 購入者サービスセンター]ページでノートン アカウントの資格情報を入力して、[ログイン]をクリックします。
- 3 [保証される取引]ページで画面上の指示に従い、製品に関する苦情を申請します。

コンピュータのチューンナップ

この章では以下の項目について説明しています。

- 手動でハードディスクを最適化する
- パフォーマンス警告を設定する
- ディスククラッター上に散乱するファイルをクリーンアップするスキャンを実行する
- 診断レポートを実行する
- 起動項目を管理する
- ブートボリュームを最適化する

手動でハードディスクを最適化する

コンピュータのハードディスクを最適化するとパフォーマンスと信頼性が向上する可能性があります。ノートンはハードディスクの断片化を自動的に調べ、**10%**を超えて断片化している場合にはディスクを最適化します。最適化が必要かどうかを確認するために最新レポートを常に調べることができます。

メモ: ディスクの最適化は、ディスクに **15 %** を超える空き領域がある場合にのみ実行できます。

ムービー編集プログラムまたは大量のディスク容量が必要なプログラムなどの一部のプログラムはディスクを最適化すると働きがより効率的になる可能性があります。ノートンが自動最適化を実行するまで待ちたくない場合はディスクを手動で最適化できます。

メモ: ディスクの最適化処理中にソリッドステートドライブ (SSD) がデフラグされるのは Windows 8 以降のオペレーティングシステムのみです。

手動でハードディスクを最適化する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[パフォーマンス]をダブルクリックしてから[ディスクの最適化]をクリックします。
- 2 活動が完了したら、[閉じる]をクリックします。

パフォーマンス警告を設定する

[パフォーマンス警告]オプションを使うと、プログラムまたはプロセスによってシステムリソースの使用率が増加した場合にパフォーマンス警告を受信できます。

パフォーマンス警告を設定する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [パフォーマンス監視]の[パフォーマンス警告]行で、スイッチを次のいずれかの位置に動かします。

[オフ]

パフォーマンス警告を通知しない場合は、このオプションを選択します。

[オン]

プログラムまたはプロセスがシステムのリソース使用率のしきい値制限を超えたときに、パフォーマンス警告の通知を受信する場合は、このオプションを選択します。

[ログのみ]

コンピュータで実行中のすべてのプログラムまたはプロセスによるシステムリソース使用率の監視のみを行う場合は、このオプションを選択します。

デフォルトでは、[パフォーマンス警告]オプションは[ログのみ]になっています。

プログラムまたはプロセスがシステムのリソース使用率のしきい値制限を超えると、その詳細が[セキュリティ履歴]ウィンドウに記録されます。[セキュリティ履歴]ウィンドウの[パフォーマンス警告]カテゴリで、パフォーマンス警告に関連する詳細を確認することができます。

- 4 [高い使用率の警告]で、次のいずれかの操作を実行します。
 - ノートン製品で CPU 使用率を監視するには、[CPU]スイッチを[オン]の位置に動かします。
 - ノートン製品でメモリ使用率を監視するには、[メモリ]スイッチを[オン]の位置に動かします。

- ノートン製品でディスクの使用率を監視するには、[ディスク]スイッチを[オン]の位置に動かします。
- ノートン製品でハンドル件数を監視するには、[ハンドル]スイッチを[オン]の位置に動かします。
デフォルトでは、このオプションはオフになっています。

5 [適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

ディスククラッター上に散乱するファイルをクリーンアップするスキャンを実行する

広範な Web 参照または一連のソフトウェアインストールなどのさまざまな活動によって一時ファイルが生成されます。手動のクリーンアップスキャンを実行して一時ファイルをすぐに削除できます。

ディスククラッター上散乱するファイルをクリーンアップする

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[パフォーマンス]をダブルクリックしてから[ファイルのクリーンアップ]をクリックします。
- 2 活動が完了したら、[閉じる]をクリックします。

診断レポートを実行する

診断レポートには、オペレーティングシステム、プログラム、ハードウェアを含む、コンピュータについての情報が収集されます。このレポートを使い、問題を見つけて解決することができます。

診断レポートは、タイムスタンプ付きのリアルタイムのレポートです。ノートンはこのレポートを自動的に生成しません。[スキャン]ウィンドウの[診断レポート]オプションを使ってレポートを手動で生成する必要があります。

ノートンがコンピュータで問題を検出した場合は、[今すぐ解決]オプションを使って問題を解決できます。

確認のために必要な場合、レポートは保存、電子メールによる送信、印刷が可能です。

診断レポートを実行する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[セキュリティ]をダブルクリックしてから[スキャン]をクリックします。
- 2 [スキャン]ウィンドウで、[診断レポート]を選択し、[実行]をクリックします。

起動項目を管理する

起動マネージャは、コンピュータの電源を入れたときに自動的に起動するプログラムを監視し、リストを表示します。コンピュータの起動時間を短縮してパフォーマンスを向上させるために、コンピュータの電源を入れたときの一部のプログラムの起動を延期できます。

ノートンは、延期したプログラムの起動を 5 分間延期します。[起動マネージャ]ウィンドウの延期された最初のプログラムは、コンピュータの起動から 5 分後に起動されます。延期された、以降のすべてのプログラムは、さらに 10 秒間延期して起動されます。

起動項目を延期する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[パフォーマンス]をダブルクリックしてから[起動マネージャ]をクリックします。
- 2 [起動マネージャ]ウィンドウの[起動の延期]列で、延期したいプログラムを選択します。
- 3 [適用]をクリックします。
- 4 [閉じる]をクリックします。

延期した起動項目を手動で実行する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[パフォーマンス]をダブルクリックしてから[起動マネージャ]をクリックします。
- 2 [起動マネージャ]ウィンドウで、[延期した項目を今すぐ実行]をクリックします。
- 3 プログラムが起動するまで待つてから[起動マネージャ]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

ブートボリュームを最適化する

[最適化]オプションでは、ブートボリュームを最適化し、コンピュータの起動時間を改善できます。ブートボリュームの最適化では隣接し、連続するクラスタにファイルの断片を再整理することで、使用可能な空き領域が最大になります。ハードディスクのヘッドがファイルのすべてのデータに 1 カ所でアクセスすれば、メモリへのファイルの読み込みが高速になります。

[最適化]オプションを使うと、ブートボリュームを含むドライブが最適化されます。そのため、最適化を完了するのに必要な時間が長くなります。

[グラフ]ウィンドウのセキュリティの状態グラフの上部にある[最適化]オプションにアクセスできます。[バックグラウンドタスク]ウィンドウの[インサイト最適化]オプションを使って、ブートボリュームを最適化することもできます。[バックグラウンドタスク]ウィンドウに表示されるバックグラウンドジョブリストの[インサイト最適化]行にブートボリュームの最適化処理の詳細が表示されます。タイムスタンプ、期間、バックグラウンドジョブの状態などの詳細を表示できます。

[グラフ]ウィンドウでブートボリュームを最適化する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[パフォーマンス]をダブルクリックしてから[グラフ]をクリックします。
- 2 [グラフ]ウィンドウのセキュリティの状態グラフの上部で[最適化]をクリックします。

[バックグラウンドタスク]ウィンドウでブートボリュームを最適化する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。

- 3 [バックグラウンドタスク]行で、[設定]をクリックします。
- 4 [バックグラウンドタスク]ウィンドウの[ノートン タスク]列で、[インサイト最適化]の前に表示される再生アイコンをクリックします。

メディアとデータの保護

この章では以下の項目について説明しています。

- [ファイルのバックアップを作成する](#)
- [ファイルを復元する](#)
- [新しいバックアップセットを作成する](#)
- [バックアップセットにファイルとフォルダを追加する](#)
- [バックアップ先を選択する](#)
- [クラウドストレージ容量を追加購入する](#)
- [バックアップのオンとオフを切り替える](#)

ファイルのバックアップを作成する

作成するバックアップセットの自動バックアップを実行するようにノートンをスケジュール設定できます。[セキュリティ履歴]ウィンドウの[バックアップ]カテゴリでバックアップ処理の詳細を確認できます。

ファイルのバックアップを作成する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[バックアップ]をダブルクリックしてから[バックアップを実行する]をクリックします。
- 2 [バックアップの実行]ウィンドウで、作成したバックアップセットに対して画面上の指示に従います。
- 3 [閉じる]をクリックします。

ファイルを復元する

適切なバックアップを作成する理由は必要に応じてバックアップからファイルを復元できるからです。ノートン製品にはバックアップファイルを復元する簡単な方法があります。

デフォルトではノートン製品は実行された最新のバックアップセットのバックアップ先とファイルの元の場所を表示します。

メモ: オンラインバックアップのファイルを復元するには、[ファイアウォールの設定]ウィンドウの[データ通信ポリシー]オプションを[無制限]に設定する必要があります。

ファイルを復元するときに次の設定を変更できます。

[復元元]

任意のバックアップセットを選択してファイルを復元できます。

外付けメディアにデータのバックアップを作成した場合、ファイルを復元するにはその外付けメディアをコンピュータに接続する必要があります。ノートン製品のリストに示されるのは、バックアップを実行済みでコンピュータが現在検出できるすべてのバックアップセットです。

[ファイル]

選択したバックアップセットのバックアップファイルを復元できます。[検索]オプションを使って名前によるファイルの検索と選択したファイルの復元対象への追加を行うことができます。[ファイル]の横にある[すべてのファイルとカテゴリの復元]オプションにチェックマークを付けてすべてのファイルカテゴリを選択することもできます。さらに、[ファイルやフォルダの参照]オプションを使って、ファイルカテゴリとフォルダに基づいてバックアップファイルを参照できます。

バックアップファイルカテゴリによってバックアップセット内のバックアップファイルをフィルタ処理できます。

[復元先]

ファイルの元の場所への復元、ファイルを復元できる新しい場所への移動ができます。ノートン製品は、復元用に選択したファイル数の合計とファイルの合計サイズを表示します。

同じ名前のファイルが元の場所にあるときはそのファイルが復元ファイルに置き換わります。

ファイルを復元する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[バックアップ]をダブルクリックしてから[ファイルを復元する]をクリックします。
- 2 [ファイルの復元]ウィンドウで次の 1 つ以上の操作をします。
 - [復元元]で復元元を変更します。
 - [ファイル]で復元するファイルを指定します。

- [復元先]でファイルの復元先を変更します。
- 3 [ファイルを復元する]をクリックします。
- 4 画面の指示に従ってファイルの復元を完了します。

新しいバックアップセットを作成する

さまざまな設定を使って複数のバックアップセットを作成できます。たとえば、画像のバックアップをローカルハードディスクに作成するバックアップセットを作成できます。また、各バックアップセットに異なるスケジュールを設定することもできます。

新しいバックアップセットを作成すると、そのバックアップセットにはノートン製品によってデフォルトの設定が適用されます。デフォルトの設定では不十分な場合、設定を変更できます。

各バックアップセットはバックアップセット名で識別できます。デフォルトのバックアップセット名は[デフォルトセット]です。デフォルト名でバックアップセットを保存することもできます。ただし、新しいバックアップセットを作成するときには必ずそのバックアップセットの名前を指定する必要があります。バックアップセット名の最大長は 32 文字です。作成できるバックアップセットの最大数は 10 です。

新しいバックアップセットを作成する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[バックアップ]をダブルクリックしてから[バックアップセット]をクリックします。
- 2 [概略]ページの[次のいずれかを選択できます]で、[新しいバックアップセットの作成]をクリックします。
- 3 表示されるウィンドウでバックアップセット名を入力してから[OK]をクリックします。
- 4 [対象]ページの[ファイルの種類]で、ファイルカテゴリを選択します。
- 5 [バックアップセットの管理]ウィンドウで、[設定を保存する]をクリックします。

バックアップセットにファイルとフォルダを追加する

ユーザーの操作はノートンが自動的に検出しファイルカテゴリに含めるファイルのバックアップの作成に限定されるわけではありません。バックアップ対象ファイルのセットにファイルを追加することも、バックアップ対象からファイルを除外することもできます。

ノートンでは、コンピュータから、バックアップに含めるファイルまたはフォルダを選択できます。[バックアップセットの管理]ウィンドウの[対象]ページの[ファイルやフォルダを追加または除外する]オプションでは、バックアップセットにファイルとフォルダを追加するオプションが提供されます。

また、ファイルまたはフォルダを右クリックして、ショートカットメニューのノートン セキュリティオプションを使ってバックアップセットに追加することもできます。ショートカットメニューはバックアップの設定後と、[バックアップセットの管理]ウィンドウと[ファイルの復元]ウィンドウが閉じているときに利用できます。バックアップセットにファイルを追加すると、ノートンは[ファイルやフォルダを追加または除外す

る]オプションをクリックすると表示されるウィンドウに情報を一覧表示します。バックアップに追加したすべてのファイルとフォルダを表示できます。

また、[リストから削除]オプションを使って、バックアップに含まれているか除外されている追加項目を項目のリストから削除できます。このオプションは、[ファイルやフォルダを追加または除外する]をクリックすると表示されるウィンドウで利用できます。

バックアップセットにファイルを追加する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[バックアップ]をダブルクリックしてから[バックアップセット]をクリックします。
- 2 [対象]タブで[ファイルやフォルダを追加または除外する]をクリックします。
- 3 表示されるウィンドウで[ファイルを含める]をクリックします。
- 4 表示されるファイル選択ウィンドウで追加したいファイルに移動し、ファイルをクリックして選択してから[開く]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 [バックアップセットの管理]ウィンドウで、[設定を保存する]をクリックします。

バックアップセットにフォルダを追加する

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[バックアップ]をダブルクリックしてから[バックアップセット]をクリックします。
- 2 [対象]タブで[ファイルやフォルダを追加または除外する]をクリックします。
- 3 表示されるウィンドウで[フォルダを含める]をクリックします。
- 4 表示されるフォルダ選択ウィンドウで追加したいフォルダに移動してから[OK]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 [バックアップセットの管理]ウィンドウで、[設定を保存する]をクリックします。

Windows エクスプローラでファイルまたはフォルダをバックアップセットに追加する

- 1 Windows エクスプローラでファイルまたはフォルダを右クリックし、[ノートン セキュリティ]、[バックアップに追加]の順に選択します。

ショートカットメニューの[バックアップに追加]オプションはバックアップの設定後と、[バックアップセットの管理]ウィンドウと[ファイルの復元]ウィンドウが開いているときにのみ有効になります。
- 2 ファイルまたはフォルダを追加するバックアップセットをクリックします。

バックアップ先を選択する

ノートンはファイルのバックアップを作成してさまざまな場所に格納できます。バックアップの速度、安全性、量は場所の選択によって異なります。すべての状況とすべてのユーザーにとって最適な1つのバックアップ先というものはありません。

コンピュータとその接続デバイスに応じて、ノートンが提供するいずれかの格納場所をバックアップ先を選択できます。次の表の情報に従って必要な安全性、速度、記憶容量に最も合う場所を選択します。

Secure Cloud Storage

ノートン製品のサブスクリプション中は、インターネット上の安全なサーバーのストレージ容量が割り当てられます。この場所をバックアップに選択すると情報がリモートの場所に格納されるので、安全性が最も高くなります。結果として、コンピュータを破損または破壊するような災害が起きてもバックアップに影響することはありません。コンピュータのインターネット接続がアクティブな間はオンラインバックアップを自動的に実行できます。ただし、インターネット接続が適度に高速である必要があります。

[バックアップセットの管理]ウィンドウの[場所]ページで[帯域幅の調整]を使ってファイルのバックアップに使うインターネット帯域幅を設定できます。

次の帯域幅の調整状態を変更できます。

- [最速 (推奨)]
- [高使用率]
- [中使用率]
- [低使用率]

必要なときはいつでもクラウドストレージ容量を追加購入できます。

メモ: [Secure Cloud Storage]オプションを使用するには、[ファイアウォールの設定]ウィンドウの[データ通信ポリシー]オプションを[無制限]に設定する必要があります。

C: (ローカルハードディスク)

これを選択するとコンピュータのドライブ **C** にある特別なフォルダにファイルのバックアップが作成されます。ドライブ **C** へのバックアップの作成は便利ですが、実行できますが、ドライブ上の空き容量に制限されます。この場所を選択して自動バックアップを実行できます。ドライブ **C** へのバックアップの作成は便利ですが、安全でないバックアップ方法です。ドライブで機械的な問題が起きると元のファイルとバックアップの両方が破損する可能性があります。自動クイックバックアップにドライブ **C** を使うのであれば、場合によっては異なるドライブまたは別の場所にファイルのバックアップを作成する必要があります。

その他の内蔵ドライブまたは外付けドライブ

これを選択すると便利な高速バックアップができます。ドライブがコンピュータに接続されている間は自動バックアップを実行でき、いつでもバックアップファイルにアクセスできます。

ドライブ **C** を使うよりも別のドライブを使うほうが安全ですが、その場合でも、データはコンピュータのハードウェアの誤動作による危険にさらされたままになります。

別のドライブへのバックアップの作成を選択するのであれば、場合によっては他の場所にもファイルのバックアップを作成するようにしてください。

ネットワークドライブ

これを選択できるのは、アクセス可能な格納場所があるローカルネットワークにコンピュータが接続している場合です。ネットワークの速度によっては、内蔵ドライブまたは外付けドライブの場合とほぼ同じ速さでバックアップを作成できます。

アクセス可能なストレージデバイスがあるネットワークにコンピュータが接続していない場合、ネットワークドライブという選択肢は表示されません。

データのバックアップを外付けネットワークドライブに作成するにはその外付けネットワークドライブをコンピュータにマップする必要があります。ドライブをマップするときに接続にドライブ名を指定する必要もあります。

フラッシュドライブとリムーバブルストレージデバイス (iPod など)

コンピュータに接続したフラッシュドライブなどのデータストレージデバイスもバックアップ先になります。

ノートンはこのようなデバイスを外付けディスクドライブとして表示します。このデバイスはコンピュータに常時接続しておけば自動バックアップに使えます。

このようなデバイスの記憶容量はハードディスクの記憶容量よりも少ないことがあります。バックアップにフラッシュドライブを使うのであれば、場合によっては別の格納場所にもファイルのバックアップを作成するようにしてください。

バックアップ先として **Secure Cloud Storage** を選択すると、ノートン アカウントに登録するようにノートンから要求されます。ノートン アカウントに登録するにはインターネットに接続する必要があります。

バックアップ先として **Secure Cloud Storage** を使用するには、[ファイアウォール] 設定ウィンドウの [データ通信ポリシー] オプションを [無制限] に設定する必要があります。

メモ: クラウドストレージ容量を使用するには、有効なライセンスキーでノートンをアクティブ化する必要があります。

バックアップ先を選択する

- 1 データのバックアップ先にしたいデバイスがコンピュータに接続済みでオンになっていることを確認します。
- 2 ノートンのメインウィンドウで、[バックアップ]をダブルクリックしてから[バックアップセット]をクリックします。
- 3 [場所]ページで、バックアップを保存する場所とデバイスを選択します。
デバイスまたは場所がリストにない場合には[リストの更新]をクリックします。
- 4 [設定を保存する]をクリックします。

クラウドストレージ容量を追加購入する

ノートン製品のサブスクリプションの利用中は、セキュアなクラウドストレージ容量が割り当てられます。オンラインバックアップの実行時にノートン製品はバックアップに必要な容量を計算します。バックアップのための容量がクラウドストレージで不足していればノートン製品は通知し、ストレージの追加購入のためのオプションを表示します。

クラウドストレージ容量の追加が必要であることをノートン製品が通知するまで待つ必要はありません。容量はいつでも追加購入できます。

クラウドストレージ容量を追加購入するにはインターネットに接続する必要があります。

ノートンのプロダクトキーごとに **25 GB** のクラウドストレージが提供されます。ノートン アカウントを使用して、割り当てられているクラウドストレージ容量をコンピュータ間で共有できます。たとえば、ノートン製品がインストールされたコンピュータが **2** 台あり、同じノートン アカウントで登録しているとします。ストレージ容量を **2** 台のコンピュータ間で共有できます。クラウドストレージ容量の **10 GB** を **1** 台目のコンピュータに使用するとします。同じノートン アカウントを使用する **2** 台目のコンピュータに対してクラウドストレージをアクティブ化すると、そのコンピュータで容量の残りの **15 GB** を使用できます。

メモ: クラウドストレージ容量は、お使いの製品によって異なります。

バックアップを作成するときにクラウドストレージ容量を追加購入する

- 1 ノートンからクラウドストレージ容量の追加が必要であることを通知されたら、[追加ストレージの購入]をクリックします。
ブラウザが開き、クラウドストレージ容量を追加購入できる安全なページが表示されます。
- 2 安全な Web ページの指示に従ってクラウドストレージ容量を追加購入します。

他の時点でクラウドストレージ容量を追加購入する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[バックアップ]をダブルクリックしてから[追加ストレージ]をクリックします。
ブラウザが開き、クラウドストレージ容量を追加購入できる安全なページが表示されます。
- 2 Web ページの指示に従ってクラウドストレージ容量を追加購入します。

バックアップのオンとオフを切り替える

[バックアップ]オプションがオンになっている場合、コンピュータがアイドル状態のときにノートン製品によって自動的にバックアップが行われます。ただし、一時的に無効にしたい場合にはプログラム自体の内部からオフにできます。

バックアップをオフにすると、ノートンのメインウィンドウのバックアップ状態は[保護]から[無効]に変わります。[無効]状態では、ノートン製品はファイルのすべての自動バックアップを無効にします。すべてのバックアップセットのファイルをバックアップする場合は、メインウィンドウの[バックアップの実行]オプションを使うことができます。

[設定]ウィンドウ、[バックアップの設定]ウィンドウ、[バックアップの詳細]ウィンドウからバックアップのオンとオフと切り替えることができます。

[設定]ウィンドウでバックアップのオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウの[クイック制御]で次のいずれかの操作をします。
 - バックアップをオフにするには[バックアップ]のチェックマークをはずします。
 - バックアップをオンにするには[バックアップ]のチェックマークを付けます。

[バックアップの設定]ウィンドウでバックアップのオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[バックアップの設定]をクリックします。
- 3 [バックアップの設定]ウィンドウで次のいずれかの操作をします。
 - バックアップをオフにするには、オン/オフスイッチを[オフ]の位置に動かします。
 - バックアップをオンにするには、オン/オフスイッチを[オン]の位置に動かします。
- 4 [設定]ウィンドウで、[適用]をクリックします。

[バックアップの詳細]ウィンドウでバックアップのオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで、[バックアップ]をクリックしてから[詳細を表示する]をクリックします。
- 2 [バックアップの詳細]ウィンドウの[次のことができます]で次のいずれかの操作をします。
 - バックアップをオフにするには[バックアップをオフにする]をクリックします。

- バックアップをオンにするには[バックアップをオンにする]をクリックします。

設定のカスタマイズ

この章では以下の項目について説明しています。

- [ネットワークプロキシを設定する](#)
- [ノートン製品の設定のカスタマイズ](#)
- [バッテリー使用を最適化するようにノートン製品を設定する](#)
- [リモート管理のオンとオフを切り替える](#)
- [パスワードを使ってノートン製品の設定を保全する](#)
- [ノートン製品の設定のパスワードをリセットする](#)
- [\[ノートン製品の改ざん対策\]のオンとオフを切り替える](#)
- [検索ツールの使用方法](#)

ネットワークプロキシを設定する

プロキシサーバーを使ってインターネットに接続する場合は、プロキシサーバーの詳細を指定する必要があります。[ネットワークプロキシの設定]ウィンドウでは、自動設定、プロキシ設定、プロキシサーバー認証設定を入力できます。ネットワークプロキシ設定により、サービスのアクティブ化やサポートオプションへのアクセスなどのタスクの実行中にインターネットに接続できます。

ネットワークプロキシを設定する

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [ネットワークプロキシの設定]行で[設定]をクリックします。
- 4 [ネットワークプロキシの設定]ウィンドウで、次の操作を行います。
 - ブラウザにネットワーク接続設定を自動的に検出させる場合は、[自動設定]の[自動的に設定を検出]にチェックマークを付けます。

- プロキシサーバーに自動設定 URL が必要な場合は、[自動設定]の[自動設定スクリプトを使う]にチェックマークを付けます。[URL]フィールドに PAC ファイルの URL を入力します。
- ネットワークでプロキシサーバーを使う場合は、[プロキシの設定]の[HTTP 接続の場合にプロキシサーバーを使う]にチェックマークを付けます。[アドレス]フィールドにプロキシサーバーの URL または IP アドレスを入力し、[ポート]フィールドにプロキシサーバーのポート番号を入力します。1 から 65535 の値を指定できます。
- プロキシサーバーにユーザー名とパスワードが必要な場合は、[認証]の[ファイアウォールまたはプロキシサーバーを通して接続するための認証を必要とする]にチェックマークを付けます。[ユーザー名]フィールドにユーザー名を入力し、[パスワード]フィールドにパスワードを入力します。

5 [ネットワークプロキシの設定]ウィンドウで、[適用]をクリックします。

ノートン製品の設定のカスタマイズ

ノートン製品のデフォルト設定によって、コンピュータは安全で効率的な方法で自動的に保護されます。ただし、保護の設定を変更またはカスタマイズする場合は、[設定]ウィンドウでほとんどの機能にアクセスできます。

ノートン製品の設定は次の方法で設定できます。

- オン/オフのスイッチを使って機能をオンまたはオフにできます。機能をオフにするとオン/オフのスイッチの色が赤になり、コンピュータがセキュリティの脅威に対して脆弱であることが示されます。機能をオンにするとオン/オフのスイッチの色が緑になり、コンピュータがセキュリティの脅威に対して保護されていることが示されます。
- 保護機能のスライダーをドラッグして希望の設定に合わせることができます。ほとんどの場合にノートン製品では、セキュリティの脅威を自動的に解決するか、処理を行う前にユーザーに確認するかをスライダー設定によって決定できます。
- 設定用に提供されたオプションを選択するかまたは必要な情報を入力することによって保護機能を設定できます。これらのオプションのほとんどはチェックボックスとして利用可能で、チェックマークを付けたりはずしたりできます。
[デフォルト設定を使う]オプションを使って、設定をデフォルトのレベルにリセットすることもできます。
- ドロップダウンリストで最適なオプションを選択できます。
- [クイック制御]オプションのチェックマークを付けたりはずしたりして機能をオンまたはオフにできます。

また、ノートン製品では[設定]ウィンドウのほとんどの[デフォルト設定を使う]オプションもあります。このオプションを使って設定をデフォルトのレベルにリセットできます。

ノートン製品の設定をカスタマイズするには

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、カスタマイズしたい保護機能をクリックします。
- 3 表示されるウィンドウで、オプションを希望の設定にします。
 ページをクリックしてページに表示される設定にアクセスする必要がある場合があります。
- 4 [設定]ウィンドウで次のいずれかの操作をします。
 - 変更を保存するには[適用]をクリックします。
 - 変更を保存せずにウィンドウを閉じるには[閉じる]をクリックします。

バッテリー使用を最適化するようにノートン製品を設定する

コンピュータがバッテリー電源で動作しているとき、すべてのアクティブなソフトウェアプログラムのリソース使用率が最小になることが重要です。リソース使用率を減らすことで、コンピュータでより長いバッテリーの寿命を使うことができ、エネルギー効率がより向上します。

[低]しきい値プロファイルを設定すると、すべてのプログラムのリソース使用率を確実に最小限に抑えることができます。プログラムまたはプロセスのリソース使用率が[低]しきい値制限を超えると、パフォーマンス警告が通知されます。プログラムまたはプロセスを手動で停止してリソースを解放することもできます。

[管理の設定]ウィンドウの[バッテリー使用時に低リソースプロファイルを使用]オプションがオンの場合、コンピュータがバッテリー電源で動作している場合に、しきい値プロファイルが自動的に[低]に変更されます。デフォルトでは、このオプションはオンになっています。

メモ: [バッテリー使用時に低リソースプロファイルを使用]オプションをオンのままにしておくことをお勧めします。

[バッテリー使用時に低リソースプロファイルを使用]オプションのオンとオフを切り替える

- 1 ノートンのメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [パフォーマンス監視]の[バッテリー使用時に低リソースプロファイルを使用]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 4 [適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

リモート管理のオンとオフを切り替える

リモート管理を使うと、ノートンアカウントを使ってノートン製品をリモート管理できます。[リモート管理] オプションをオンにすると、ノートン製品の詳細を表示してデバイスのセキュリティの問題の一部を解決できます。

[リモート管理]オプションがオンになっている場合、ノートン製品はノートン製品に関連する詳細をノートンアカウントに送信します。このオプションがオフになっている場合、ノートン製品はその詳細を公開しません。

デフォルトでは、[リモート管理]オプションはオフになっています。

[リモート管理]オプションを有効にすると、ノートン アカウントのパスワードの入力を求められます。

リモート管理のオンとオフを切り替える

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [リモート管理]行で、[オン/オフ]スイッチを[オン]または[オフ]の位置に動かします。
- 4 [適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

パスワードを使ってノートン製品の設定を保全する

製品の設定にパスワードを設定することで、権限のないアクセスからノートン製品の設定を保全できます。[管理の設定]ウィンドウの[設定のパスワード保護]オプションによって、パスワードを使ってノートン製品の設定を保全できます。

ノートン製品の設定にパスワードを設定した後は、製品の設定を表示したり、製品の設定を行うたびにパスワードを入力する必要があります。

デフォルトでは、[設定のパスワード保護]オプションはオフになっています。製品の設定にパスワードを設定するには、[設定のパスワード保護]オプションをオンにする必要があります。

メモ: パスワードの長さは 8 文字から 256 文字の間にしてください。

パスワードを使ってノートン製品の設定を保全する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [製品セキュリティ]の[設定のパスワード保護]行で、オン/オフスイッチを[オン]の位置に動かします。
- 4 [適用]をクリックします。
- 5 表示されるダイアログボックスで、[パスワード]フィールドにパスワードを入力します。

- 6 [パスワードの確認]フィールドにパスワードを再び入力します。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

ノートン製品の設定のパスワードをリセットする

ノートン製品の設定のパスワードを忘れた場合はパスワードをリセットできます。ノートン製品の設定のパスワードは、[アンインストール優先設定を選択してください]ウィンドウの[設定パスワードをリセット]オプションを使ってリセットできます。

[アンインストール優先設定を選択してください]ウィンドウにアクセスするには、ノートン製品のアンインストールを選択する必要があります。ただし、設定のパスワードをリセットするために製品をアンインストールする必要はありません。

メモ: [設定パスワードをリセット]オプションは、[設定のパスワード保護]オプションがオンになっている場合のみ[アンインストールの方法を選択してください]ウィンドウに表示されます。[設定のパスワード保護]オプションを使うには、ノートン製品のメインウィンドウに移動してから、[設定] > [管理の設定] > [製品セキュリティ]の順にクリックします。

ノートン製品の設定のパスワードをリセットする

- 1 Windows のタスクバーで次のいずれかの操作をします。
 - Windows XP、Windows Vista、Windows 7 では、スタートメニューで[コントロールパネル]をクリックします。
 - Windows 8 では、[アプリ]画面の[Windows システム]の[コントロールパネル]をクリックします。
 - Windows 10 では、[スタート]、[すべてのアプリ]の順にクリックし、[Windows システム]の[コントロールパネル]をクリックします。
- 2 Windows のコントロールパネルで次のいずれかの操作をします。
 - Windows XP では[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
 - Windows Vista では[プログラムのアンインストール]をダブルクリックします。
 - Windows 7 または Windows 8 では[プログラム]、[プログラムと機能]の順にクリックします。Windows 7 または Windows 8 の[プログラム]オプションは、[表示方法]ドロップダウンリストで[カテゴリ]オプションを選択すると利用できます。
 - Windows 10 では、[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 3 現在インストールされているプログラムのリストで、次のいずれかの操作をします。
 - Windows XP では、ノートン製品を選択してから[変更と削除]をクリックします。

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8、または Windows 10 では、ノートン製品を選択してから[アンインストールと変更]をクリックします。
- 4 [アンインストール優先設定を選択してください]ウィンドウの下部で[設定パスワードをリセット]をクリックします。
- 5 表示されるダイアログボックスで、[パスワードリセットキー]に対して表示されているランダムに生成されたキーを[パスワードリセットキー]フィールドに入力します。
- 6 [新しいパスワード]フィールドに新しいパスワードを入力します。
- 7 [新しいパスワードの確認]フィールドに新しいパスワードを再び入力します。
- 8 [OK]をクリックします。

[ノートン製品の改ざん対策]のオンとオフを切り替える

ノートン製品の改ざん対策はウイルスまたは他の未知の脅威による攻撃または修正からノートン製品のファイルを保護します。[ノートン製品の改ざん対策]オプションをオンにしておくことで、手違いによる修正または削除から製品を保護できます。

ノートン製品の改ざん対策を一時的にオフにする場合は、オフにする期間を指定できます。

メモ: ノートン製品の改ざん対策がオンになっている場合、コンピュータでシステムの復元は実行できません。システムの復元を正常に実行するには、ノートン製品の改ざん対策を一時的にオフにする必要があります。

[ノートン製品の改ざん対策]のオンとオフを切り替える

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [製品セキュリティ]の[ノートン製品の改ざん対策]行で、[オン/オフ]スイッチを[オフ]または[オン]の位置に動かします。
- 4 [適用]をクリックします。
- 5 要求された場合は、機能をオフにするまでの期間を選択し、[OK]をクリックします。
- 6 [設定]ウィンドウで[閉じる]をクリックします。

検索ツールの使用方法

検索ツールは以下の方法で開くことができます。

- 設定した検索ショートカットキーを押します。デフォルトでは、ショートカットキーは `Ctrl + F` に設定されており、ノートン製品にフォーカスがあるときのみ動作します。この設定を変更するには、「[検索ショートカットキーを設定する](#)」を参照してください。

- ノートン製品のメインウィンドウで検索 (



) アイコンをクリックします。

- タスクバー領域でノートン製品のアイコンを右クリックしてから[検索する]をクリックします。
- ノートンの[ヘルプセンター]ウィンドウで[検索]をクリックします。

検索ツールは以下の場合に役立ちます。

ノートン製品の特定の機能の検索

[検索する]ウィンドウで、検索ボックスに機能名を入力します。機能名がよく分からない場合、関連するキーワードの入力を開始すると、検索候補が表示され、迅速に情報を見つけることができます。マウスを検索候補の上に合わせると、機能に関する簡単な説明が表示されます。検索結果から機能の設定も変更できます。

検索ショートカットキーを設定する

キーボードショートカットを設定して、製品内検索ウィンドウを迅速に起動できます。製品内検索ウィンドウを使うと、ノートン製品の特定の機能を探することができます。製品内検索ウィンドウに入力を開始すると、情報を迅速に見つけるために使用できる関連する検索の提案が表示されます。マウスを検索の提案の上に合わせると、機能に関する簡単な説明を確認できます。検索結果から機能の設定も変更できます。

デフォルトでは、ショートカットキーは Ctrl + F に設定されており、ノートン製品にフォーカスがあるときのみ動作します。この設定を変更するには以下の手順を確認してください。

検索ショートカットキーを設定する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[設定]をクリックします。
- 2 [設定]ウィンドウで、[管理の設定]をクリックします。
- 3 [検索ショートカットキー]行でスイッチを[オン]の位置に移動します。
- 4 矢印をクリックして、製品内検索に割り当てるキーを選択します。
- 5 次のいずれかの操作をします。
 - ノートン製品がフォーカスしたときのみショートカットキーを動作させるには、[グローバル]オプションのチェックマークをはずします。
 - ノートン製品がフォーカスしないときにショートカットキーを動作させるには、[グローバル]オプションにチェックマークを付けます。
- 6 [適用]をクリックしてから[閉じる]をクリックします。

追加の解決策の検索

この章では以下の項目について説明しています。

- [製品のバージョン番号を確認する](#)
- [製品の新しいバージョンの確認](#)
- [ノートン自動修復を使って問題を解決する](#)
- [\[今すぐ解決\]が失敗する理由](#)
- [ノートン製品をアンインストールする](#)

製品のバージョン番号を確認する

ノートン製品をアップグレードする場合や、カスタマーサポートに問い合わせをする場合は、コンピュータにインストールされている ノートン製品の完全なバージョン番号を確認しておく必要があります。バージョン番号は、問題の正確な解決策を特定するのに役立ちます。

製品のバージョン番号を確認する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[ヘルプ]をクリックします。
- 2 [ヘルプセンター]ウィンドウの[一般情報]で、[バージョン情報]をクリックします。

製品の新しいバージョンの確認

サブスクリプションが残っている場合、製品を最新バージョンにアップグレードできます。シマンテック社から新しいバージョンがリリースされた場合は、製品の新しいバージョンをダウンロードしてインストールできます。製品の新しいバージョンが入手可能になったときにノートン製品から通知を受信することもできます。これは、[管理の設定]ウィンドウで[新しいバージョンの自動ダウンロード]オプションをオンにすることによって設定できます。製品の最新バージョンには、セキュリティの脅威に対する保護を強化する新機能と拡張機能が含まれている場合があります。

新しいバージョンを確認すると、製品名やバージョンなど、製品に関する詳細情報がシマンテック社のサーバーに送信されます。サーバーでは、指定された製品の新しいバージョンがあるかどうかを確認されます。

新しいバージョンがある場合は、**Web** ページからダウンロードしてインストールできます。新しいバージョンがない場合は、**Web** ページにその旨が表示されます。その場合は、ライブアップデートを実行して最新のプログラムの更新版と定義の更新版を入手して、既存の製品のバージョンを最新に保つことができます。

シマンテック社のサーバーと通信するための互換性がブラウザにない場合には、このアップグレードプロセスが機能しないことがあります。サポート対象のブラウザは、**Internet Explorer 6.0** 以降、**Chrome 10.0** 以降、**Firefox 3.6** 以降です。

メモ: 製品の新しいバージョンを確認してインストールするには、製品がアクティブ化されていて、インターネットに接続されている必要があります。

製品の新しいバージョンを確認するには

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで[ヘルプ]をクリックします。
- 2 [ヘルプセンター]ウィンドウで[新しいバージョンの確認]をクリックします。

Web サイトに、新しいバージョンがあるかどうかが表示されます。

メモ: このオプションは、サブスクリプションが残っているか、サービスがアクティブな場合にのみ利用できます。

- 3 新しいバージョンがある場合は、画面の指示に従って新しい製品をダウンロードします。

ノートン自動修復を使って問題を解決する

メモ: ノートン自動修復を使って問題を解決するにはデバイスをインターネットに接続する必要があります。

ノートン自動修復を使うとノートン製品のメインウィンドウからワンクリックで追加の製品サポートにアクセスできます。ノートン自動修復はコンピュータのクイックスキャンを実行し、ユーザーの操作なしで問題を解決します。問題が解決しない場合は、[サポート **Web** サイトへ]オプションを使用して、ノートンのサポート **Web** サイトページにアクセスし、オンラインフォーラム、チャット、電子メール、電話によるヘルプをご利用いただけます。

また、ノートンのサポート **Web** ページからナレッジベースの記事にアクセスできます。これらの記事は、技術上の問題の解決に役立ちます。

サポート担当者は、リモートアシスタンス技術を使って、より複雑な問題を解決するためのサポートを行うことができます。シマンテック社のサポート担当者は、リモートアシスタンス技術を使って、保守またはサービスを実行する目的で、リモートユーザーとしてコンピュータにアクセスします。

メモ: 提供されるサポートは言語または製品によって異なる場合があります。

[ヘルプセンター]ウィンドウで[サポート情報]オプションを選択すると、ノートン製品はインターネット接続を確認します。ノートン自動修復にアクセスするには、コンピュータがインターネットに接続していることを確認します。

プロキシサーバーを使ってインターネットに接続する場合は、ノートン製品のプロキシを設定する必要があります。

プロキシ設定について不明な場合は、サービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ノートン自動修復を使って問題を解決する

- 1 ノートン製品のメインウィンドウで、[ヘルプ]、[サポート情報]の順にクリックします。
- 2 [ノートン自動修復]ウィンドウで次のいずれかの操作をします。
 - インターネットへの接続に問題がある場合は、デバイスが接続されていることを確認し、[再試行]をクリックして自動修復処理を完了します。
 - それでもインターネット接続の問題が解決しない場合は、[スキップ]をクリックしてノートン自動修復の他の処理に進みます。
 - 問題が自動的に解決されない場合は、[サポート Web ページへ]をクリックしてサポートに問い合わせます。
 - サポート Web サイトに接続できない場合は、[ここをクリックしてください]リンクを使ってサポートの連絡先電話番号を確認します。
 - 問題が解決された場合は、[閉じる]をクリックします。

[今すぐ解決]が失敗する理由

ノートン製品は、ユーザーをすべての種類のセキュリティの脅威から保護するためにバックグラウンドでサイレントに働きます。保護の妨げになったりシステムのパフォーマンスを低下させたりする可能性がある重要な問題が検出されると、[今すぐ解決]タスクが実行されます。

状況によっては、このタスクが失敗することがあります。

[今すぐ解決]が失敗する理由とその解決方法:

- サブスクリプションの期限切れ
サブスクリプションがアクティブであることを確認します。サブスクリプションを確認するには、メインウィンドウで[ヘルプ]をクリックし、[有効期間の状態]をクリックします。

- 低速なインターネット接続
この製品は、ノートンサーバーから更新版入手します。インターネット接続が低速な場合、問題を解決するために必要な更新版をダウンロードできません。すべてのウイルス定義をダウンロードするためにより高速な接続を確保してください。
- コンピュータが完全に感染している
コンピュータの感染が深刻なレベルに達していて、それらのウイルスをクリーニングするための十分な更新版がない場合、[今すぐ解決]が失敗することがあります。[ノートン パワーイレイサー]を実行してコンピュータをクリーンアップしてください。手順については、p.32 の「[ノートン パワーイレイサーを使ってコンピュータをスキャンする](#)」を参照してください。
- 脅威が完全に削除されていない
脅威が削除されると、コンピュータを再起動するように求められます。再起動しないと、後に[今すぐ解決]を実行したときに失敗する可能性があります。
- 保護情報の更新版が古くなっている
製品を最新バージョンにアップグレードした場合、最新の保護情報の更新版が含まれていないことがあります。ライブアップデートを数回実行して最新の保護情報の更新版入手してください。
- ライブアップデートの失敗
ライブアップデートが失敗する場合は、[今すぐ解決]も失敗します。
- インターネットに接続されていない
デバイスがインターネットに接続されていることを確認します。保護者機能やプロキシの設定によって接続が遮断されていないことを確認します。
- [データ通信ポリシー]が[節約]または[トラフィックなし]に設定されている
[データ通信ポリシー]オプションが[節約]または[トラフィックなし]のいずれかのモードに設定されていると、コンピュータで最新の更新版入手できません。この設定を変更するには、p.51 の「[ノートン製品のインターネット使用率を定義する](#)」を参照してください。
- ファイアウォールまたはネットワークがトラフィックを許可していない
お使いの製品のファイアウォール設定またはネットワーク設定でトラフィックが許可されていることを確認します。
- 日時が正しくない
コンピュータの日時が手動で変更されている場合や正しくない場合は、[今すぐ解決]が失敗することがあります。日時が正しく設定されていることを確認してください。
- コンピュータの容量が不足している
更新版をインストールするのに十分なディスク容量がないと、[今すぐ解決]が失敗することがあります。ディスクの領域を解放してからライブアップデートを実行してください。

ノートン製品をアンインストールする

次の方法でコンピュータからノートン製品を削除できます。

- Windows のコントロールパネルを使う。
- スタートメニューを使う。
- Windows の[スタート]画面を使う(Windows 8/8.1)。

メモ: アンインストールを続行する前にこのヘルプトピックを印刷してください。アンインストール中にヘルプにアクセスすることはできません。

Windows の[コントロールパネル]でノートン製品をアンインストールする

- 1 次のいずれかの操作をします。
 - Windows のスタートメニューで[コントロールパネル]を選択します。
 - Windows 8 では、[アプリ]に移動して、[Windows システム]の[コントロールパネル]をクリックします。
 - Windows 10 では、[スタート]、[すべてのアプリ]の順にクリックし、[Windows システム]の[コントロールパネル]をクリックします。
- 2 Windows のコントロールパネルで次のいずれかの操作をします。
 - Windows XP では[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
 - Windows Vista では[プログラムのアンインストール]をダブルクリックします。
 - Windows 7 と Windows 8 では、[プログラム]、[プログラムと機能]の順にクリックします。
[プログラム]オプションは、[表示方法]ドロップダウンリストで[カテゴリ]オプションを選択すると利用できます。
 - Windows 10 では、[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 3 現在インストールされているプログラムのリストで、次のいずれかの操作をします。
 - Windows XP では、ノートン製品を選択してから[変更と削除]をクリックします。
 - Windows Vista、Windows 7、Windows 8、または Windows 10 では、ノートン製品を選択してから[アンインストールと変更]をクリックします。
- 4 画面の指示に従って操作します。

コンピュータを再起動するまでノートン製品は完全にはアンインストールされません。

スタートメニューからノートン製品をアンインストールする

- 1 **Windows** タスクバーの[スタート]、[すべてのプログラム/すべてのアプリ]、[ノートン セキュリティ]、[ノートン セキュリティのアンインストール]の順にクリックします。
- 2 ノートン ホームページをデフォルト ホームページとして、ノートン セーフサーチをデフォルトの検索プロバイダとして維持しない場合は、下部に表示されるチェックボックスを選択します。
- 3 画面の指示に従って操作します。

コンピュータを再起動するまでノートン製品は完全にはアンインストールされません。

Windows 8/8.1 のスタート画面からノートン製品をアンインストールする

- 1 スタート画面でノートン製品を右クリックし、[アンインストール]をクリックします。
- 2 現在インストールされているプログラムのリストで、ノートン製品を選択してから[アンインストールと変更]をクリックします。
- 3 画面の指示に従って操作します。

コンピュータを再起動するまでノートン製品は完全にはアンインストールされません。